

# 基本操作ガイド

## Satera

MF8570Cdw/MF8530Cdn/MF8280Cw/MF8230Cn



本製品の設置や接続の方法とソフトウェアの インストール方法は、かんたん設置ガイドを ご覧ください。

- ・本書には基本的な操作方法が書かれています。 設置完了後にお読みください。
- ・最初に「安全にお使いいただくために」 (→P.114)をお読みください。
- ・必要なときにいつでも使用できるように 大切に保管してください。

本製品の詳細な使用法と製品仕様は 付属のUser Software CD-ROMに収められている 電子マニュアルをご覧ください。



### 取扱説明書の分冊構成について

#### かんたん設置ガイド

かんたん設置ガイドは、本製品の設置や設定とソフトウェアのインストール方法について 説明しています。本製品をご使用になる前に必ずお読みください。



#### 無線LAN設定ガイド(MF8570Cdw/MF8280Cwのみ)

無線LAN設定ガイドは、無線LANの設定手順および設定中のトラブルに対する原因と対処 方法について説明しています。本製品をご使用になる前に必ずお読みください。



#### 基本操作ガイド

基本操作ガイドは、一般的な使用方法やコピー、ファクス、スキャン、印刷の基本的な 機能について説明しています。



#### 電子マニュアル

電子マニュアルは、本製品すべての機能と設定について説明しています。必要なときに検 索機能を活用してお読みください。



#### MFドライバーインストールガイド

User Software CD-ROM に収録されている MF ドライバー、MF Toolbox、および付属のソ フトウェアのインストール手順を説明しています。



#### Send設定ガイド(MF8570Cdw/MF8530Cdnのみ)

スキャンした画像をメールで送信したり、共有フォルダーに保存したりするための準備作 業として、SEND設定ツールを使った設定方法を説明しています。

### Macintoshをお使いの方へ

本書ではコンピューターに関わる説明はWindowsを例として説明しています。 Macintosh用プリンタードライバー、ファクスドライバー、スキャナードライバーの説明は、CD-ROMに収められているドライバーガイドと、各ドライバーの提供するヘルプを参照してください。



#### 💿 ドライバーガイドの格納場所

付属のUser Software CD-ROMの [Documents] フォルダーに収められているHTMLファイルをダ ブルクリックして各ガイドを表示します。

### 本書の読みかた

マークについて

▲ 警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項 が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事 項をお守りください。
1 注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれて います。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守り ください。
$\bigcirc$	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示しています。 指 示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。
ご注意	操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれていま す。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ず お読みください。
×ŧ	操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになるこ とをおすすめします。

#### キーについて

本書では、操作するキー、本体ディスプレーに表示されるメッセージ、コンピューター画 面上のボタンや項目を以下のように表記しています。

操作パネル上のキー

```
[キーアイコン]
[キーアイコン]+(キー名称)
例:
[②]
[③](戻る)
```

- 本体ディスプレー上のメッセージ:
   例:<宛先を指定してください>
- コンピューター画面上のボタンや選択項目:[選択項目] 例:[詳細設定]



#### 本書で使われているイラスト

特にお断りがない限り、MF8570Cdwのものです。製品間で手順や項目に違いがあるときは、「MF8280Cwの場合」のように明示しています。

#### 本書で使われている画面

特にお断りがない限り、MF8570Cdwの製品購入時の画面内容を掲載しています。 お使いになる製品によっては、掲載している画面内容と一部異なる場合があります。

### おもな機能の紹介



• コピー  $\rightarrow$  P.33

• プリント → P.42



#### 画質調整

濃度、原稿の種類、シャープネスを 設定して画質を調整する

- コピー→P.33
- ファクス\*1 → P.54



ページ集約 複数のページを1枚の用紙に 集約して印刷する

- コピー→P.36
- プリント → P.44

- \*1 MF8570Cdw / MF8280Cwのみ
- \*2 MF8570Cdw / MF8530Cdnのみ
- \*3 MF8570Cdwのみ

#### 両面印刷

コピー、プリント、ファクスの内容 を両面印刷する

- コピー\*<sup>2</sup> → P.35
- プリント\*2 → P.43
- •ファクス\*3 → P.71



ソート → P.36 複数の文書をコピーするときにページ順に並べる

### プリント



**ID カードコピー → P.37** IDカードの両面を用紙の片面にコピーする



#### 製本印刷\*2 → P.45

- 2ページを片面に集約して両面印刷 する
- 印刷物を2つ折りして製本すると、 小冊子が作れる

### スキャン



#### ポスター印刷 → P.46

- 1ページを拡大して複数枚に分割印 刷する
- 印刷物を貼り合わせると、ポスター が作れる



### スタンプ印刷 → P.47

文書にCOPYやDRAFTなどのスタンプ 文字を重ね合わせて印刷する



操作パネルからスキャン → P.77 操作パネルのキーを操作して、スキャンする



#### コンピューターからリモートスキャン → P.80

MF Toolboxやスキャナードライバーを使ってスキャン する

### ファ**クス**\*1



ベストメンバー / 短縮 / グルー プダイヤル → P.50 ベストメンバー、短縮、グループダイ ヤルを活用して宛先を指定する



#### メモリー受信 → P.66

- 受信したファクスをメモリーに保存 する
- すぐに印刷せずに、相手先を確認して から印刷したり転送したりできる



#### 同報送信 → P.60 複数の宛先に同じ原稿を一度に送信する





### 基本的な操作

各部の名称と働き	10
前面と内部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
背面	12
操作パネルの使いかた	13
コピー/ファクスなどの各モードに切り替える	15
文字を入力する・・・・・・	16
日付と時刻を設定する	17
原稿をセットする・・・・・	18
原稿台ガラスにセットする	19
フィーダーにセットする	19
用紙をセットする	20
給紙力セットに用紙をセットする	21
手差し給紙口にセットする	23
用紙をセットする向き	25
用紙のサイズと種類を設定する	28
節電(スリープ)モードに切り替える	29

### コピー

基本的なコピー・・・・・・	32
用紙を節約してコピーする	32
拡大/縮小してコピーする	33
画質を調整してコピーする	33
濃度を調整する	33
原稿の種類を選ぶ・・・・・	34
シャープネスを調節する	34
両面にコピーする (MF8570Cdw / MF8530Cdnのみ)	35
複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする	36
ページ順に並べてコピーする	36
IDカードの両面をコピーする	37
原稿の影や枠線を消してコピーする	38
コピージョブを確認/中止する	38
コピーのデフォルト値を変更する	39





### プリント

プリントする・・・・・	42
拡大/縮小してプリントする	42
両面にプリントする (MF8570Cdw / MF8530Cdnのみ)	43
複数ページを1枚の用紙にプリントする	44
製本印刷をする (MF8570Cdw / MF8530Cdnのみ) ······	45
ポスターを作れるようにプリントする	46
スタンプを入れてプリントする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	47
プリントジョブを確認/中止する	48

### ファクス (MF8570Cdw / MF8280Cwのみ)

アドレス帳に宛先を登録する	50
ベストメンバーを登録する	50
短縮ダイヤルを登録する	51
グループダイヤルを登録する	52
登録した宛先を編集/削除する	53
ファクスの画質を調整する	54
濃度を調整する	54
原稿に合う解像度を選ぶ	54
シャープネスを調節する	55
両面原稿の開き方を設定する(MF8570Cdwのみ)	55
デフォルト値を変更する	56
ファクスを送信する・・・・・	56
宛先を入力してファクスを送る	56
ベストメンバーから宛先を選ぶ	57
短縮ダイヤルから宛先を選ぶ	58
グループダイヤルから宛先を選ぶ	58
名前で検索して宛先を選ぶ	59
リダイヤルを使う	59
複数の相手先にファクスを送信する(同報送信)・・・・・・・・・・・・	60
海外にファクスを送る(ポーズの挿入)	60
電話をかけてからファクスを送信する	61
<sup>。</sup> ファクスを受信する(受信モード)	62
ファクス専用で使用する(自動受信モード)・・・・・・・・・・・・・・	63
ファクス/電話兼用で使用する(FAX/TEL切替モード)	63
留守番電話機をつなげて使用する(留守TEL接続モード)	64
おもに電話を使用する(手動受信モード)	65
手動でファクスを受信する	65
メモリーを活用してファクスを受信する	66
メモリー受信に設定する	66
メモリーの内容を確認/削除/転送する	67
メモリーの内容をプリントする	67
ファクスジョブを確認/中止/転送する	68
ファクス設定を変更する・・・・・	68
ファクス送信設定を変更する	68
ファクス送信機能を制限する	70
ファクス受信設定を変更する	71
ファクスの通信管理設定を変更する	72









### > スキャン

スキャンの種類	76
操作パネルのキーを使ってスキャンする	77
ショートカットキーを使ってスキャンする	79
MF Toolbox を使ってスキャンする	80
MF Toolbox を使ってスキャンする           MF Toolboxのスキャン設定画面を知る	<b>80</b> 82

### メンテナンスと管理

日常のお手入れ・・・・・	86
本体のお手入れ・・・・・	86
原稿台ガラスのお手入れ・・・・・・	86
フィーダーのお手入れ・・・・・・	87
定着器のお手入れ・・・・・・	87
転写ベルト(ITB)のお手入れ	88
トナーカートリッジを確認/交換する	88
トナーの残量を確認する	89
トナーカートリッジを交換する	89
レポート/リストを使って管理する	92
リモートUIを使って管理する	93

### 困ったときには

原稿や用紙がつまったら	
メッセージが表示されたら	107
エラーコードが表示されたら	108
プリント結果がよくないときには	109
故障かな?と思ったら	110
FAQ	

停電のときには
安全にお使いいただくために
規制について

基本的な操作

本製品の一般的な操作方法と原稿や用紙をセットする方法などを説明します。 これらを知っておくと、さまざまな機能をお使いになるときに役立ちます。



### 前面と内部











#### 機能切り替えキー

コピー、ファクス(MF8570Cdw/MF8280Cw のみ)、スキャン、メディアプリントの各



アドレス帳

メニュー	メニューにある各種機能を使う(このページ下部の「メニューの使いかた」を参照してください。)	
レポート	レポートやリストをプリントする(→P.92)	
状況確認	ジョブの確認や中止、本製品の状態を確認する(→P.38、P.48、P.68)	
節電	手動で節電状態に設定/解除する。節電状態のときは黄緑色に点灯する(→P.29)	
認証	部門別ID管理が設定されているとき、ログインする(詳しくは電子マニュアルの「 <b>基本操作</b> 」を参照して ください。)	



#### 文字や数字の入力方法(→P.16)

メニューの使いかた

0~9 (テンキー)	文字や数字を入力する		
	<ul> <li>文字の入力モードを切り替える</li> </ul>	クリア	入力した文字や数字を削除する
*	<ul> <li>トーン信号を発信する、またはファクス で各種情報を受信する</li> </ul>	スタート(白黒 /カラー)	読み込みやコピーを開始する
#	記号を入力する	ストップ	ジョブを中止する



### コピー/ファクスなどの各モードに切り替える

各モードの画面に切り替えます。



モードを切り替えてからしばらく使わないと、基本画面であるコピーモードに切り替わる



×ŧ

• はじめてファクスモードを使用する場合には ファクス設定ナビがディスプレーに表示されます。画面の指示またはかんたん設置ガイドを参照して設定し てください。

・基本画面をよく使う機能の画面に変えるには
 〔 ⑧ ] ⇒ <環境設定> ⇒ <表示設定> ⇒ <起動/復帰後に表示する画面> ⇒ 画面を選択 ⇒ [OK] ⇒ [ ⑨ ]
 ・基本画面に戻る時間を変更するには

[ <br />
<br

テンキーを使って文字や記号、数字を入力できます。

#### 入力モードを切り替えるには

[ \star ]を繰り返し押す

<b>&lt;カナ&gt;</b> カタカナ			
<aa> アルファベッ</aa>	アルファベットと記号 /		
<b>&lt;12&gt;</b> 数字			
マープー略称の登録       メ/12//hr       東市/メモリー ((t))       エラー	アドンス     メニー・レバート     ビス     ビス       ア     アメビス     ビー     ビー       ア     ア     アメビス     ビー       ア     ア     ア     ビー       ア     ア     ビー		

文字の最後にカーソルを合
 長押しすると、すべての

文字を削除

#### – 文字や記号、数字を入力するには

入力したい文字に該当するキーを、その文字が表示 されるまで繰り返し押す

使用す るキー	入力モード: <aa></aa>	入力モード: <12>	入力モード: <i>&lt;</i> カナ>
1	@/	1	アイウエオアイウエオ
2	ABCabc	2	カキクケコ
3	DEFdef	3	サシスセソ
4	GHlghi	4	タチツテトッ
5	JKLjkl	5	ナニヌネノ
6	MNOmno	6	ハヒフヘホ
7	PQRSpqrs	7	ZETAE
8	TUVtuv	8	τιστε
9	WXYZwxyz	9	ラリルレロ
0	(入力不可)	0	ワヲン
#	(スペース) @ ./!?&\$% #()[]{}<>* +=",;:'^`  \~	(入力不可)	<sup>*</sup> (濁音) <sup>°</sup> (半濁音) - (ハイフン)

#### 入力例(例: キャノン1a)

を入力

わせて[▶]を押し、スペース



### 日付と時刻を設定する

ファクス機能や各種レポートで表示される日付と時刻が合わないときに正しく設定します。

- 1 [ (※)]を押す
- 2 [▲]/[▼]で<タイマー設定>を選択し、[OK]を押す
- 3 [▲]/[▼]で<日付/時刻の設定>を選択し、[OK]を押す



- **4** [▲]/[▼]で<現在日時の設定>を選択し、[OK]を押す
  - 日付時刻の表示方法を変更するには、<日付の形式>または<時刻の形式>で設定します。
- 5 日付と時刻を入力し、<確定>を押す
  - [◀]/[▶]でカーソルを移動します。
  - [▲]/[▼]で数字、または<AM>と<PM>を切り替えます。

NO OF	設定			
A				
2013	08/01	10:23	AM	
¥				
		荷	宦	
	2013 V	2013 08/01 V	2013 08/01 10:23 V	2013 08/01 10:23 AM ▼ 確定

6 [③]を押して設定を終了する



### 原稿をセットする

原稿の種類に応じて適切なセット場所を選びます。

厚い用紙、小さい用紙、薄い用紙、 冊子などの定形ではない原稿の場合





#### 同じサイズ、紙厚、紙質の 複数枚の原稿をセットする場合



フィーダーにセットする(→P.19)

#### セット可能な原稿





• ノリやインク、修正液などは完全に乾かしてからお使いください。

- 以下のような原稿をお使いの場合は、フィーダーで紙づまりを起こさないように、原稿を原稿台ガラスにセットしてください。
  - しわや折り目がある紙
  - カーボン紙やカーボンバック紙
  - カールした、または巻いた紙 - コート紙
  - コート<sub>私</sub> - 破れた紙
  - 薄質半透明紙や薄紙
  - ステイプルの針、またはクリップが付いた紙
  - 熱転写プリンターで印刷された紙
  - OHPフィルム

### 原稿台ガラスにセットする

- 1 フィーダーを開ける
- 2 読み取る面を下にして原稿をセットする



- 3 原稿を用紙サイズマークに合わせる
  - 原稿の左上端を矢印(→)に合わせます。
  - トレーシングペーパーやOHPフィルムなどの透過原稿をコピーする場合は、原稿の 上に白紙を重ねます。



4 フィーダーを閉める

### フィーダーにセットする

1 原稿ガイドの幅を原稿の幅より少し広めにセットする



• 原稿が垂れ下がる場合は、延長トレイを引き出す



2 原稿をさばいてから、原稿の端を揃える







- 指を挟まないように 注意して閉めてくだ さい。
- 無理に閉めないでく ださい。原稿台ガラス が破損したりけがを する恐れがあります。



### 用紙をセットする

セットする前に用紙が適切かどうか確認してください。不適切な用紙をセットすると、紙 づまりの原因になります。

Step

#### 使用可能な用紙かどうか確認する

A4、B5、A5、はがき、封筒などの用紙を使用することができます。 使用可能な用紙の詳細は、電子マニュアルの「**付録」→「おもな仕様**」を参照してください。



紙づまりを防ぐために以下の用紙は使用しないでください。

- しわや折り目のある紙
- カールした、または巻いた紙
- 破れた紙
- 湿った紙
- 非常に薄い紙
- 熱転写プリンターで印刷された紙
- 目の粗い紙、つるつるした紙
- 光沢紙





セットした用紙と設定した用紙のサイズが違う場合は、エラーメッセージが 表示されたり、正しく印刷できなかったりします。

### 給紙カセットに用紙をセットする

用紙をセットする向きについては「用紙をセットする向き」(→P.25)を参照してください。



用紙をヨコ向きにセットすることはできません。図のように、用紙は必ずタテ向きにセットしてください。







給紙カセットは必ず両手で持ち、静かに引き出してください。片手で引 き出すと勢いが付いて落下し、破損する恐れがあります。



6 セットした用紙のサイズと種類を設定する(→P.28)

### 手差し給紙口にセットする

MF8570Cdw / MF8530Cdn

- 1 カバーを開ける
- 2 用紙トレイと延長トレイを引き出す



3 用紙ガイドを広げる



4 用紙を奥に突き当たるまで差し込む



5 用紙ガイドを用紙に合わせる





用紙ガイドがゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙が正しく送られな かったり、紙づまりの原因になるので注意してください。

6 セットした用紙のサイズや種類などを設定する



詳しくは、電子マニュアルの「**基本操作**」を参照してください。

MF8280Cw / MF8230Cn



2 印刷面を上にして用紙を指し込み、用紙ガイドを用紙の幅にぴったり合わせます。





用紙ガイドがゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙が正しく送られな かったり、紙づまりの原因になるので注意してください。

3 セットした用紙のサイズや種類などを設定する



詳しくは、電子マニュアルの「**基本操作**」を参照してください。

### 用紙をセットする向き

はがき、封筒、レターヘッドやロゴ付きの用紙は次のように正しい向きにセットしてください。

はがき

セットする方向

印刷する面を上にする

#### 給紙力セット



#### 手差し給紙口





#### セットする方向

封筒の表面(貼り合わせのない面)を上にする

#### 給紙力セット



#### 手差し給紙口

MF8570Cdw / MF8530Cdn



#### MF8280Cw / MF8230Cn



### レターヘッドやロゴ付きの用紙





### 用紙のサイズと種類を設定する

セットした用紙のサイズと種類に合わせて設定を変更してください。

- 1 [( )](用紙選択/設定)を押す
  - <用紙選択>画面が表示されたときは [▲] / [▼] で<用紙設定>を選択し、[OK]を 押す
- 2 [▲]/[▼]で<カセット1>または<カセット2>を選択し、[OK]を押す
  - 用紙サイズを直接入力するには<ユーザー設定用紙登録>を選択し、このページ下 部の「用紙サイズを手動で入力する方法」を参照して入力します。
- 3 [▲]/[▼]で用紙サイズを選択し、[OK]を押す

用紙サイズ	
A4	
A5	
B5	
長形3号	
洋形長3号	
はがき	

**4** [▲]/[▼]で用紙の種類を選択し、[OK]を押す

用紙種類
普通紙1 (60~74 g/m²)
普通紙2 (70~84 g/m²)
普通紙3(75~90 g/m²)
再生紙
色紙
厚紙1 (86~119 g/m²)

5 [( )](用紙選択/設定)を押して設定を終了する

#### 用紙サイズを手動で入力する方法

用紙サイズは、縦長(<Y>≧<X>)かつ、設定可能な範囲内で指定してください。

- **1** [▲]/[▼]で<未登録>を選択し、[OK]を押す
- 2 [▲]/[▼]で<X>を選択し、[OK]を押す
- 3 テンキーまたは[▲]/[▼]で横サイズの数値を入力し、<確定>または[OK] を押す

サイズを指定	Xの長さ		
X: 0 mm	**		
Y: 0 mm			
X		140	mm
Ťγ		•	
		(77~215)	
確定			確定

- **4** [▲]/[▼]で<Y>を選択し、[OK]を押す
- 5 テンキーまたは [▲] / [▼] で縦サイズの数値を入力し、<確定>または [OK] を押す
- 6 <確定>を押す

### 節電(スリープ)モードに切り替える

[()]を押すことで、スリープモードに切り替えたり解除したりできます。



実行/メモリーランプが点灯または点滅しているときは、動作中またはエラーが 発生した状態なので、スリープモードに切り替えられません。



工場出荷時、使用しない時間がMF8570Cdw / MF8530Cdnの場合は10分間、 MF8280Cw / MF8230Cnの場合は20分間続くと、自動的にスリープモードに切り替わる設定になっています。スリープモードに切り替わるまでの時間を変 更するには、[※] → <タイマー設定> → <オートスリープ移行時間> → 時間を設定 → <確定> → [※] を押します。

### Memo

よく使うコピー機能を説明します。



### 「基本的なコピー

1 原稿をセットする(→P.18)



- 2 コピーモードに切り替える(→P.15)
- 3 テンキーでコピー部数(1~99)を入力する
   ・ コピー部数を修正するときは、[(C)]を押します。

🍼 コピー開始: スタートキー
-
100% 🖬 A4 1
濃度: ±0
原稿の種類:文字/写真/地図
両面: 0FF
倍率: 100% 等倍

4 [∲] ●]を押す



給紙部を指定する方法については、電子マニュアルの「**コピーする**」を参照してください。

### コピーを中止するには

- 1 [□]を押す
  ジョブが複数表示された場合は、[▲]/[▼]で中止したいジョブを選択します。
- 2 [▲]/[▼]で<はい>を選択し、[OK]を押す

### 「用紙を節約してコピーする」

- 1 原稿をセットする(→P.18)
- 2 コピーモードに切り替える(→P.15)
- 3 [用紙節約コピー](用紙節約コピー)を押す
- 4 [▲]/[▼]で組み合わせを選択して、[OK]を押す

<2 in 1 片面→両面>*	片面に2ページずつ、両面コピーする
<4 in 1 片面→両面>*	片面に4ページずつ、両面コピーする
<2 in 1 片面→片面>	片面に2ページ、コピーする
<4 in 1 片面→片面>	片面に4ページ、コピーする

\* MF8570Cdw / MF8530Cdnのみ



#### 5 原稿のサイズを選択して、[OK]を押す

• <LGL>を選択することができますが、実際の読み取りサイズはA4になります。

6 [(①)](スタート)を押す

フィーダーに原稿を セットした場合	自動的にコピーが始まります。
原稿台ガラスに原稿 をセットした場合	<ol> <li>次の原稿をセットして[④] を押します。</li> <li>● 原稿を1枚読み込むごとに[④] を押します。</li> <li>すべての原稿を読み込んで、&lt;コピー開始&gt;を押します。</li> </ol>

## コピー

### 「拡大/縮小してコピーする

定形サイズの原稿から定形サイズの用紙に拡大/縮小コピーしたり(定形変倍)、1%刻み に倍率を設定したりできます。

- 1 原稿をセットする(→P.18)
- 2 コピーモードに切り替える(→P.15)
- 3 [▲]/[▼]で<倍率>を選択し、[OK]を押す
- 4 [▲]/[▼]でコピー倍率を選択して、[OK]を押す
  - 倍率を1%刻みで設定したい場合は、<任意の倍率>を選択し、テンキーを使って倍率を入力するか[▲]/[▼]で倍率を設定します。

倍率
任意の倍率
100% 等倍
400% 最大
200%
141% A5->A4
122% A5->B5
115% B5->A4
86% A4->B5
81% B5->A5
70% A4->A5
50%
25% 最小

5 [◇]◇]を押す

画質を調整してコピーする



色の強弱を調整することもできます。詳しい内容は、電子マニュアルの「**コ** ピーする」を参照してください。

### 濃度を調整する

原稿より薄くまたは濃く調整できます。

1 原稿をセットする(→P.18)



- 2 コピーモードに切り替える(→P.15)
- 3 [▲]/[▼]で<濃度>を選択し、[OK]を押す
- 4 [◀]/[▶]で濃度を調節し、<確定>を押す





背景色の濃度も調整できます。詳しい内容は、電子マニュアルの「**コピー** する」を参照してください。

5 [①①]を押す

### 原稿の種類を選ぶ

原稿に合わせて選択してください。

- 1 原稿をセットする(→P.18)
- 2 コピーモードに切り替える(→P.15)
- 3 [▲]/[▼]で<原稿の種類>を選択し、[OK]を押す

4 [▲]/[▼]で原稿の種類に適する設定を選択し、[OK]を押す

<文字/写真/地図(高速コピー)>	文字、写真、地図が混在する原稿に適しています (原稿を低解像度で高速に読み込む)。
<文字/写真/地図>	文字、写真、地図が混在する原稿に適しています。
<文字/写真/地図(高画質)>	文字、写真、地図が混在する原稿に適しています (原稿を高解像度で低速に読み込む)。文字と写真 のどちらを見やすくするかも調整できます。詳し くは、電子マニュアルの「 <b>コピーする</b> 」を参照して ください。
<印刷写真>	雑誌やパンフレットに掲載されている写真に適して います。
<文字>	文字のみの原稿に適しています。

5 [①①]を押す

### シャープネスを調節する

原稿の画像のエッジをくっきりとまたはソフトに調整できます。

1 原稿をセットする(→P.18)

- 2 コピーモードに切り替える(→P.15)
- 3 [▲]/[▼]で<シャープネス>を選択し、[OK]を押す





4 [▲]/[▼]で両面コピーの形式を選択し、[OK]を押す

両面		
0FF		
1)+P	片面 <b>-</b> >両面	i
∄≁₽	両面->両面	i
(]→])	両面->片面	i j
開き	方設定	

5 [①①]を押す

フィーダーに原稿を セットした場合	自動的にコピーが始まります。
原稿台ガラスに原稿 をセットした場合	<ol> <li>[▲]/[▼]で原稿のサイズを選択して、[OK]を押します。</li> <li><lgl>を選択できますが、A4として読み取ります。</lgl></li> <li>次の原稿をセットして[④]を押します。</li> <li>・原稿を1枚読み込むごとに[④]を押します。</li> <li>すべての原稿を読み込んで、&lt;コピー開始&gt;を押します。</li> </ol>

#### 開き方を設定したい場合

手順4で<開き方設定>を選択すると、原稿の開き方や仕上がりの開き方を設定できます。





<上下開き> | <

### 複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする



複数枚の原稿(2または4ページ)を、1枚の用紙におさめてコピーできます。

- 1 原稿をセットする(→P.18)
- 2 コピーモードに切り替える(→P.15)
- 3 [▲]/[▼]で<ページ集約>を選択し、[OK]を押す
- 4 [▲]/[▼]で<2 in 1>または<4 in 1>を選択し、[OK]を押す

ページ集約	
0FF	
	2 in 1
()→0	4 in 1
	IDカードコピー
レイアウト設定	

- 5 [▲]/[▼]で原稿のサイズを選択し、[OK]を押す • <LGL>を選択することができますが、実際の読み取りサイズはA4になります。
- 6 [▲]/[▼]で給紙部を選択し、[OK]を押す
- 7 [ ( ( )]を押す

フィーダーに原稿を セットした場合	自動的にコピーが始まります。
原稿台ガラスに原稿 をセットした場合	<ol> <li>次の原稿をセットして[②③]を押します。</li> <li>原稿を1枚読み込むごとに[④③]を押します。</li> <li>すべての原稿を読み込んで、&lt;コピー開始&gt;を押します。</li> </ol>

#### ページレイアウトを設定したい場合

手順4で<レイアウト設定>を選択すると、お好みのページレイアウトに設定できます。

3 1

4 2



### ページ順に並べてコピーする

複数枚の原稿を複数部コピーするとき、ページ順に並べて1部ずつコピーできます。

- 1 原稿をセットする(→P.18)
- 2 コピーモードに切り替える(→P.15)
- .3 [▲]/[▼]で<ソート>を選択し、[OK]を押す

<off>
- 4 [▲]/[▼]で<ON>を選択し、[OK]を押す
- 5 [①①]を押す

# IDカードの両面をコピーする

IDカードの両面を用紙の片面にコピーできます。

#### 1 IDカードを原稿台ガラスにセットする

• カードは5 mm程度の隙間を空けて、原稿台ガラスの左上に合わせて置いてください。



# 「原稿の影や枠線を消してコピーする

用紙より小さい原稿や厚手の書籍をコピーするときにできる黒い枠や影を消すことができます。

- 1 原稿をセットする(→P.18)
- 2 コピーモードに切り替える(→P.15)
- 3 [▲]/[▼]で<枠消し>を選択し、[OK]を押す
- *4* [▲]/[▼]で<ON>を選択し、[OK]を押す
- 5 枠消し幅を指定し、<確定>を押す
- 6 <読み取りサイズ>画面で原稿のサイズを選択し、[OK]を押す
- 7 [①①]を押す

## **コピージョブを確認/中止する**

進行中のコピージョブを確認/中止できます。

- 1 [] (状況確認)を押す
- 2 [▲]/[▼]で<コピー/プリントジョブ>を選択し、[OK]を押す
- 3 [▲]/[▼]で<ジョブ状況>を選択し、[OK]を押す
- *4* [▲]/[▼]で確認または中止したいジョブを選択し、[OK]を押す
  - 詳細を確認するには、[▲]/[▼]を押します。
  - ジョブを中止するには、<中止>を押し、[▲]/[▼]で<はい>を選択して、[OK] を押します。

詳細情報	_
受付番号: 0005	Ì
状況: コピー中	l
受付時刻: 08/01 11:30AM	
部門ID: -	
ジョブタイプ: 🗐 コピー	
原稿枚数: 15	
枚数×部数: 15×1/1	
倍率: 100%	
用紙: 🔳 🖃 A4:普通紙1	J
(申止)	

5 [( )](状況確認)を押して確認を終了する



# コピーのデフォルト値を変更する

電源を入れなおしたときや、[ ⑦]を押したとき、オートクリア移行時間経過後に適用され るデフォルト値を変更できます。

- 1 [ (衆)]を押す
- 2 [▲]/[▼]で<コピー設定>を選択し、[OK]を押す
- *3* [▲]/[▼]で<デフォルト設定の変更>を選択し、[OK]を押す
- 4 [▲]/[▼]で設定する項目を選択し、[OK]を押す

<部数>	コピー部数を選択する
<濃度>	原稿より薄くまたは濃く調節する
<原稿の種類>	原稿の種類を選択する
<両面>*	読み込んだ原稿を両面にコピーする
<倍率>	コピーの倍率を選択する
<給紙>	給紙部を指定する
<ページ集約>	複数枚の原稿を、1枚の用紙におさめてコピーする
<>	ページごとに指定された部数をコピーするか、ページ順に 並べて1 部ずつコピーする
<枠消し>	枠消しの幅を指定する
<シャープネス>	画像のエッジをくっきりさせる、またはソフトにする
<カラー調整>	イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの強弱を調整する

\* MF8570Cdw/MF8530Cdnのみ

- 5 デフォルト値を変更する
- 6 設定が終わったら<確定>を押す

7 [1]を押して設定を終了する



よく使うコピー設定をお気に入り(モード)として登録することができます。 詳しくは電子マニュアルの「**コピーする**」を参照してください。



# Memo

プリント

よく使う印刷機能を説明します。





#### その他の印刷方法

USBメモリーに保存した画像を印刷する、携帯端末からGoogle Cloud Print<sup>™</sup>やAirPrintを使って印刷するなど、本製品にはプリンタードライ バーを介さないさまざまな印刷方法があります。詳しい内容は、電子マ ニュアルの「**プリンターとして使う**」を参照してください。

プリントする
1 本製品がコンピューターに接続されており、プリンタードライバーがコン ピューターにインストールされていることを確認する(かんたん設置ガイド を参照)
2 アプリケーションソフトウェアでファイルを開いて、印刷画面を表示する
3 本製品のプリンタードライバーを選択し、[詳細設定](または[プロパティ]) をクリックする
・       ・
4 印刷部数や印刷の向きなどの設定をして、[OK]をクリックする 5 [印刷]をクリックする
プリントを中止するには
ー 印刷開始後、コンピューターに表示される画面で[ <b>キャンセル</b> ]をクリックします。
<b>メモ</b> 本製品の操作部からも印刷を中止できます。詳しい内容は、電子マニュアル の「 <b>プリンターとして使う</b> 」を参照してください。
「拡大/縮小し(ノリノト9る」



ことができます。

*1* アプリケーションソフトウェアでファイルを開いて、印刷画面を表示する

印刷する用紙サイズに合わせて自動的に拡大/縮小したり、パーセントで倍率を指定する

2 本製品のプリンタードライバーを選択し、[詳細設定](または[プロパティ]) をクリックして、印刷設定画面を表示する

- 3 [基本操作]タブを選択し、倍率の設定をする ■● 作成した原稿のサイズを 🚔 印刷設定 ▲本設定 パージ設定 仕上げ 給紙 「印刷品質」 お気に入り(F) ∕□ 標準設定 ▼ 道加(1). 編集(2). 選択する 出力方法(M) 📄 ED,RAJ 3 ● 原稿サイズ(S) 〒 A4 部数(Q): 印刷の向き(O) 1 🚔 🗊 (1~99) n4
   出力用紙サイズG
   原稿サイズと同じ 1.00 -☑ 倍率を指定する(N) 1 1 in 1(標準) 120 - % (25~200) 倍率(G): 紙のサイズを選択する 片面/両面/製本(T) 片面印刷 . とじ方向(B) ● 倍率を直接指定するには ະບັບຈີ(U).. 長辺とじ(左) 排紙方法(H) 設定確認(V) 指定しない 標準(c戻す(R) カラーモード(C): 自動(カラー/白黒) 択する . OK キャンセル ヘルブ
- 4 [OK]をクリックして印刷画面に戻る
- 5 [印刷]をクリックする

- 自動的に用紙に合わせて 印刷するには、使用する用
- [倍率を指定する]にチェッ クマークを付け、倍率を選

# <u>両面にプリントする</u>

(MF8570Cdw / MF8530Cdnのみ)

用紙の両面に印刷できます。

- 1 アプリケーションソフトウェアでファイルを開いて、印刷画面を表示する
- 2 本製品のプリンタードライバーを選択し、[詳細設定](または[プロパティ]) をクリックして、印刷設定画面を表示する
- ? [基本操作]タブを選択し、両面印刷の設定をする



- 4 [OK]をクリックして印刷画面に戻る
- 5 [印刷]をクリックする



用紙のサイズや種類によっては両面印刷ができません。詳しい内容は、電子 マニュアルの「付録」→「おもな仕様」を参照してください。



# 複数ページを1枚の用紙にプリントする





複数 (2/4/6/8/9/16) のページを1枚の用紙に配置して印刷できます。内容を見やすくしたり、用紙を節約して保管したいときに便利です。

- 1 アプリケーションソフトウェアでファイルを開いて、印刷画面を表示する
- 2 本製品のプリンタードライバーを選択し、[詳細設定](または[プロパティ]) をクリックして、印刷設定画面を表示する
- [基本操作]タブを選択し、ページ数と配置順を設定する 3 × → 印刷設定 (基本設定)ページ設定 | 仕上げ | 給紙 | 印刷品質 | お気に入り(F): ∕□ 標準設定 ▼ 追加(1).. 編集(2).. 片面に印刷するページ数を 出力方法(M) 🗁 ED.RA) 部数(Q): 選択する <u>-</u>2 □ 原稿サイズ(S): \_\_\_\_\_ 1 🐳 部 (1~99) EIBIO35(0): A @ \$# A4
   出力用紙サイズ(Z)
   原稿サイズと同じ 1 2 A ◎ 椅 配置III(D):
   工 左上から右向き 3 4 ● 配置順を選択する 4 4 in 1 方面/両面/製本(1 片面印刷 . とじ方向(B) ノア。ノノノ
   A4(倍率:自動) 長辺とじ(左) 設定確認(V) 排紙方法(H) 標準に戻す(R) 指定しない ÷ カラーモード(C): 自動(カラー/白黒) ÷
- 4 [OK]をクリックして印刷画面に戻る
- 5 [印刷]をクリックする



本機能をお使いの場合は、拡大/縮小機能は使用できません。

# 製本印刷をする

d E

(MF8570Cdw / MF8530Cdnのみ)

片面に2ページずつ両面印刷し、まとめて2つ折りにすると小冊子が作れます。

- 1 アプリケーションソフトウェアでファイルを開いて、印刷画面を表示する
- 2 本製品のプリンタードライバーを選択し、[詳細設定](または[プロパティ]) をクリックして、印刷設定画面を表示する
- 3 [基本操作] タブを選択し、[製本印刷] を選択してから、[製本詳細] をクリッ クする



4 必要に応じた製本設定をし、[OK]をクリックする



- 5 [OK]をクリックして印刷画面に戻る
- 6 [印刷]をクリックする
- 7 印刷物を2つ折りして製本する



# ポスターを作れるようにプリントする



1ページの原稿を拡大して複数枚の用紙に分割印刷し、印刷された印刷物を貼り合わせて ポスターを作れます。

- 1 アプリケーションソフトウェアでファイルを開いて、印刷画面を表示する
- 2 本製品のプリンタードライバーを選択し、[詳細設定](または[プロパティ]) をクリックして、印刷設定画面を表示する
- 3 [基本操作]タブを選択し、[ページレイアウト]で[ポスター(N×N)]を選択する



- 4 [OK]をクリックして印刷画面に戻る
- 5 [印刷]をクリックする
- 6 印刷物を貼り合わせてポスターを作る



# 「スタンプを入れてプリントする



COPYやDRAFTなどのスタンプを、文書の上に重ねて印刷できます。

- 1 アプリケーションソフトウェアでファイルを開いて、印刷画面を表示する
- 2 本製品のプリンタードライバーを選択し、[詳細設定](または[プロパティ]) をクリックして、印刷設定画面を表示する
- *3* [ページ設定]タブを選択し、スタンプの設定をする 🚔 印刷設定 × 基本設定(ページ設定)土上げ 給紙 印刷品質 お気に入り ≸目 標準設定 ▼ 追加(1)... 編集(2)... 出力方法(M) 📄 ED用J 13 原稿サイズ(S): A4 🚔 出力用紙サイズ(Z) 原稿サイズと同じ 部数(C) 1 💠 部 (1~99) ED刷の合き(0) A @ \$\$ A.◎ 検 ● [スタンプ] にチェッ 1 1 in 1(標準) ページレイアウト(L) • (h クマークを付ける A4(倍率 100 🐳 % (25~200 (¥ 2.35/7(K)) 設定確認(V) マル秘 ● 印刷するスタンプを \* 7編集(1) 選択する ユーザー設定用紙(U).. ページオブション(E).. 標準に戻 (R) 
   OK
   キャンセル
   ^
   新規でオリジナルス タンプを作成すると きに選択する
- 4 新規でオリジナルスタンプを作成するには、[新規追加]をクリックし、文字 を入力する



- 5 [OK]をクリックして印刷画面に戻る
- 6 [印刷]をクリックする



スタンプは、あらかじめ登録されているスタンプを除き最大50個まで追加 登録できます。 プリントジョブを確認/中止する

進行中または待機中のプリントジョブを確認/中止できます。

- 1 [] (状況確認)を押す
- 2 [▲]/[▼]で<コピー/プリントジョブ>を選択し、[OK]を押す
- *3* [▲]/[▼]で<ジョブ状況>を選択し、[OK]を押す
- *4* [▲]/[▼]で確認または中止したいジョブを選択し、[OK]を押す
  - [▲]/[▼]でジョブの詳細を表示します。
  - ジョブを中止するには、<中止>を押したあと、[▲]/[▼]で<はい>を選択し、 [OK]を押します。

詳細情報	
受付番号: 0057	
状況:一時停止中	l
受付時刻: 08/01 02:16PM	
部門ID: -	
ジョブタイプ: 🗊 プリンター	
(中止)	

5 [( )](状況確認)を押して終了する



印刷した文書の履歴を確認することもできます。詳しい内容は、電子マニュ アルの「**プリンターとして使う**」を参照してください。



ファクス

(MF8570Cdw / MF8280Cwのみ) よく使うファクス機能を説明します。



# アドレス帳に宛先を登録する

よく使う宛先をアドレス帳に登録すると、必要なときに簡単に呼び出せます。複数の宛先 を選択し、グループとして登録することもできます。



- MF8570Cdw / MF8530Cdnには、スキャンした画像をメールで送信したり、 共有フォルダーに保存したりする機能があります。これら機能の送信先 も、アドレス帳に登録できます。詳しい内容は、電子マニュアルを参照し てください。
  - アドレス帳に暗証番号を設定するには、[(𝒫)] <>>><システム管理設定>> <送信機能の制限>⇒<アドレス帳の暗証番号>の順で押し、暗証番号を 指定します。暗証番号を指定したら[④]を押し、設定を保存します。
- ・
   ・
   暗証番号が設定されている場合は、アドレス帳の宛先を登録/編集/削除
   する際に、暗証番号の入力画面が表示されます。設定した暗証番号を入力 し、[OK]を押すとアドレス帳の機能が使えます。
- 宛先の名称に漢字やひらがなを使いたい場合は、リモートUIから登録して ください。また、リモートUIを使ってアドレス帳のデータをコンピュー ターに保存したり(エクスポート)、本製品に登録したり(インポート)でき ます。リモートUIの詳しい内容は、電子マニュアルを参照してください。

### ベストメンバーを登録する

ベストメンバーに登録した番号にファクスを送信する方法は「ベストメンバーから宛先を 選ぶ」(→P.57)を参照してください。

1 ファクスモードに切り替え(→P.15)、[[ Ш |]を押す ..... (\*\*\* メディア プリント アドレス帳 アドレス帳(ベストメンバー) [◀]/[▶]でメニュー画面または登録した番号 ----- <sup>1</sup>21 全て 🏠 あ (<u>1</u>)( か の検索画面に切り替える 1 4 ( 🖻 🚖 Canon-1 123XXXXXXX 💾: ファクス送信用の宛先を表示 📥 🚖 ABC 456XXXXXXX 7 ( ⊲ < ОК ► 🞬 🚖 X Company 789XXXXXXX \* ( 📲: グループダイヤルに登録されている宛 先の一覧を表示 用紙選択/ 設定 ∫°∧ 戻る 詳細/編集 新規登録 **全て**: アドレス帳に登録されているすべての 宛先を表示 ☆: ベストメンバーとして登録されている宛 先を表示 あ~YZ: 選択したタブに表示されている頭 文字の宛先を表示 2 <新規登録>を押す 3 [▲]/[▼]で<ベストメンバー>を選択し、[OK]を押す *4* [▲]/[▼]で<ファクス>を選択し、[OK]を押す 5 [▲]/[▼]で<名称>を選択し、[OK]を押す 6 名称を入力したあと、<確定>を押す 名称(16文字以内) カナ Canon-1

確定

aA/12/カナ



51

ファクス

- 7 [▲]/[▼]で<ファクス番号>を選択し、[OK]を押す
- 8 宛先のファクス番号を入力したあと、<確定>を押す
  - 必要に応じて、<**詳細設定**>を選択して詳細オプションを選択します。

ファクス番号(120 ※	)桁以内)
123XXXXXXX	
ポーズ	
詳細設定	確定

#### 9 <確定>を押す

10[ ] (戻る)を押して登録を終了する

#### 短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルに登録した番号にファクスを送信する方法は「短縮ダイヤルから宛先を選ぶ」 (→P.58)を参照してください。

- 1 ファクスモードに切り替え(→P.15)、[(□□)]を押す
- 2 <新規登録>を押す

()

<sup>*r*</sup> (

カナ/英/数

0

アドレス機

🛛 🖣 ОК 🕨

戻る

用紙選択/

リセット 短編 // 
回編

- 3 [▲]/[▼]で<短縮ダイヤル>を選択し、[OK]を押す
- *4* [▲]/[▼]で<ファクス>を選択し、[OK]を押す
- 5 [▲]/[▼]で<名称>を選択し、[OK]を押す
- 6 名称を入力したあと、<確定>を押す

名称(16文字以内) <sup> 溪</sup>		<i>ħ</i> †
Canon-1		$\square$
aA/12/カナ	確定	

- 7 [▲]/[▼]で<ファクス番号>を選択し、[OK]を押す
- - 必要に応じて、<**詳細設定**>を選択して詳細オプションを選択します。
  - 宛先には自動的に3桁の番号(短縮番号)が設定されます。この番号は、あとで別の 番号に変更することもできます。

ファクス番号(120 ※	)桁以内)
123XXXXXXX	
ポーズ	
詳細設定	確定

9 <確定>を押す

10[ ]](戻る)を押して登録を終了する

# グループダイヤルを登録する

複数の宛先を、1つのグループとして登録できます。複数の相手先に一斉にファクスを送信 するときに便利です。

グループダイヤルは未登録の短縮ダイヤルまたはベストメンバーに登録
 注意
 します。グループダイヤル用として短縮ダイヤルまたはベストメンバーを

- つします。 グループダイヤル用として短縮ダイヤルまたはハストダンハーを 空けておいてください。
- グループに登録する番号をあらかじめ短縮ダイヤルまたはベストメン バーに登録しておいてください。
- 1 ファクスモードに切り替え(→P.15)、[ □ ]を押す

#### 2 <新規登録>を押す

- *3* [▲]/[▼]で<短縮ダイヤル>を選択し、[OK]を押す
  - グループをベストメンバーとして登録することもできます。その場合は、<短縮ダ イヤル>ではなく<ベストメンバー>を選びます。
- *4* [▲]/[▼]で<グループ>を選択し、[OK]を押す

宛先の種類	
ファクス	
Eメール	
グループ	 )

- 5 [▲]/[▼]で<名称>を選択し、[OK]を押す
- 6 名称を入力し、<確定>を押す

名称(16文字以内)		ከታ
Canon-1		
aA/12/カナ	確定	

- 7 [▲]/[▼]で<宛先>を選択し、[OK]を押す
- *8* <追加>を押す

宛先	
追加	確定





9 [◀]/[▶]でタブを選択し、[▲]/[▼]でグループに入れる宛先を選択してから、[OK]を押す



- 10 <追加>を押す
- 11 続けて宛先を追加するには手順9、10を繰り返し、<確定>を押す

<ul><li>全て</li></ul>	\$	あ	か	•
l⊟ ☆ Ca	anon-1 1	23XXXXX	XX	
🖻 🚖 AB	3C 456XX	XXXXX		
🎬 🚖 X	Company	789XXX	XXXX	

12 <確定>を押す

13 [ ]](戻る)を押して登録を終了する

#### 登録した宛先を編集/削除する

アドレス帳に登録した宛先を編集または削除できます。

- 1 ファクスモードに切り替え(→P.15)、[ □ ]を押す
- 2 [◀]/[▶]でタブを選択する
- 3 [▲]/[▼]で宛先を選択し、<詳細/編集>を押す

<詳細情報>	詳細情報を確認できる
<編集>	<ul> <li>短縮ダイヤルの場合は、名称、ファクス番号、短縮 番号の変更ができる</li> <li>ベストメンバーの場合は、名称、ファクス番号の変 更ができる</li> <li>グループダイヤルの場合は、グループ名、宛先、短 縮番号の変更ができる</li> </ul>
<削除>	アドレス帳から宛先を削除できる

#### 4 修正する項目を選択して修正または削除する

- ・編集をする場合は、[▲]/[▼]で項目を選択して[OK]を押し、必要な編集をしたあと、<確定>を押します。
- 宛先を削除する場合は、[▲]/[▼]で<はい>を選択し、[OK]を押します。
- 5 [[ ]](戻る)を押して終了する



# ファクスの画質を調整する

### 濃度を調整する

原稿より薄くまたは濃く調整できます。

- 1 原稿をセットする(→P.18)
- 2 ファクスモードに切り替える(→P.15)
- 3 [▲]/[▼]で<濃度>を選択し、[OK]を押す
- 4 [◀]/[▶]で濃度を調整し、<確定>を押す



5 宛先を指定してファクスを送信する(→P.56)

#### 原稿に合う解像度を選ぶ

原稿に適切な解像度を選んで送信します。文字が小さくて見にくい原稿は高解像度に設定 してください。

- 1 原稿をセットする(→P.18)
- 2 ファクスモードに切り替える(→P.15)
- 3 [▲]/[▼]で<解像度>を選択し、[OK]を押す
- 4 解像度を選択し、[OK]を押す

<200 x 100 dpi (ノーマル)>	文字のみの原稿の場合
<200 x 200 dpi(ファイン)>	文字が細かい原稿の場合
<200 x 200 dpi(フォト)>	写真を含む原稿の場合
<200 x 400 dpi (スーパーファイン)>	文字がさらに細かい原稿の場合
<400 x 400 dpi(ウルトラファイン)>	スーパーファインよりもさらにきめ細 かく調整

5 宛先を指定してファクスを送信する(→P.56)



### シャープネスを調節する

原稿の画像のエッジをくっきりとまたはソフトに調整できます。

- 1 原稿をセットする(→P.18)
- 2 ファクスモードに切り替える(→P.15)
- 3 [▲]/[▼]で<シャープネス>を選択し、[OK]を押す
- 4 [◀]/[▶]でシャープネスを調節し、<確定>を押す



5 宛先を指定してファクスを送信する(→P.56)

### 両面原稿の開き方を設定する

(MF8570Cdwのみ)

両面原稿を読み込むときに、原稿の開き方を設定できます。

- 1 原稿をフィーダーにセットする(→P.18)
- 2 ファクスモードに切り替える(→P.15)
- 3 [▲]/[▼]で<両面原稿>を選択し、[OK]を押す
- 4 [▲]/[▼]で設定項目を選択し、[OK]を押す

<off></off>	片面(表面)だけを読み込む	
<左右開き>	<ul><li> 両面読み込みをする </li><li> 原稿が横開きの場合に選択する </li></ul>	
<上下開き>	<ul><li> 両面読み込みをする </li><li> 原稿が縦開きの場合に選択する </li></ul>	

5 宛先を指定してファクスを送信する(→P.56)

# デフォルト値を変更する

- 1 [())]を押す
- 2 [▲]/[▼]で<ファクス設定>を選択し、[OK]を押す
- 3 [▲]/[▼]で<送信機能設定>を選択し、[OK]を押す
- *4* [▲]/[▼]で<デフォルト設定の変更>を選択し、[OK]を押す
- 5 [▲]/[▼]で設定する項目を選択し、[OK]を押す

<解像度>	読み取り解像度を設定する	
<濃度>	読み取り濃度を薄く、または濃く設定する	
<両面原稿>*	* 両面原稿の開き方を設定する	
<シャープネス>	原稿の画像のエッジをくっきりさせる、またはソフトにする	

\* MF8570Cdwのみ

- 6 デフォルト値を設定する
- 7 設定が終わったら<確定>を押す
- 8 [[//]]を押して設定を終了する



### 宛先を入力してファクスを送る

1 原稿をセットする(→P.18)



- 2 ファクスモードに切り替える(→P.15)
- 3 テンキーで宛先のファクス番号を入力し、<確定>を押す

ファクス番号(120	)桁以内)
×.	
= 123XXXXXX	(
ポーズ	
	確定

4 必要に応じて原稿の読み込み設定をする(→P.54、P.55)



5 [①](白黒)を押す

	フィーダーに原稿を セットした場合	原稿の読み込みを開始します。読み込みが終了したら、ファ クスが送信されます。
	原稿台ガラスに原稿 をセットした場合	<ol> <li>1. [▲]/[▼]で原稿のサイズを選択して、[OK]を押します。</li> <li>2. 次の原稿をセットして[④](白黒)を押します。</li> <li>● 原稿を1枚読み込むごとに[④](白黒)を押します。</li> </ol>
	3. すべての原稿を読み込んで、< <b>送信開始</b> >を押します。	

相手先が話し中などでファクス送信ができない場合や送信エラーが発生し た場合に2分間隔で2回の自動リダイヤルを実行します。

次の手順で、自動リダイヤルの回数や間隔の変更や、自動リダイヤルしないよ うに設定できます。

[ ( ⑧ ) ] ⇒ <ファクス設定> ⇒ <送信機能設定> ⇒ <自動リダイヤル> ⇒ <ON> ➡ 設定を変更 ➡ <確定> ➡ [ () 🛞 ]]

送信中のファクスを中止するには

#### 1 [[♡]]を押す

- ジョブの一覧画面が表示された場合は、[▲]/[▼]で中止したいファクスジョブを 選択します。
- 2 [▲]/[▼]で<はい>を選択し、[OK]を押す

### ベストメンバーから宛先を選ぶ

ベストメンバーに登録された宛先に簡単に送信できます。ベストメンバーにグループが登 録されていたら、複数の宛先に同時に送信されます。

- 1 原稿をセットする(→P.18)
- 2 ファクスモードに切り替え(→P.15)、[  $\square$ ]]を押す
- 3 [◀]/[▶]で<☆>を選択する
- 4 [▲]/[▼]で宛先を選択し、[OK]を押す
- 5 必要に応じて原稿の読み込み設定をする(→P.54、P.55)
- 6 [|①|](白黒)を押してファクスを送信する



### 短縮ダイヤルから宛先を選ぶ

短縮ダイヤルに登録された宛先に簡単に送信できます。短縮ダイヤルにグループが登録されていたら、複数の宛先に同時に送信されます。

- 1 原稿をセットする(→P.18)
- 2 ファクスモードに切り替え(→P.15)、[( )](短縮)を押す
- 3 テンキーを使って、3桁の短縮番号(001~181)を入力する
  - 短縮ダイヤルに登録された番号が表示されます。間違った場合は、[C]を押して ください。
  - <短縮ダイヤル送信の確認>が<ON>に設定されている場合は、宛先の詳細画面 が表示されます。内容が正しければ<OK>を選択し、[OK]を押します。



- 4 必要に応じて原稿の読み込み設定をする(→P.54、P.55)
- 5 [|①|](白黒)を押してファクスを送信する

#### グループダイヤルから宛先を選ぶ

ベストメンバーまたは短縮ダイヤルに登録したグループダイヤルの宛先を指定します。

- 1 原稿をセットする(→P.18)
- 2 ファクスモードに切り替え(→P.15)、[( □□ )]を押す
- 3 [◀]/[▶]で<龖≥を選択する
- 4 [▲]/[▼]で宛先を選択し、[OK]を押す
- 5 必要に応じて原稿の読み込み設定をする(→P.54、P.55)
- 6 [|①|](白黒)を押してファクスを送信する



メディア ブリント

アドレス帳

⊲ • Ок •

展る

4

用紙選択/ 設定

7 7 ABC 2

9 GHI + JKL 4 5

7 8

\* 0

29-^\_\_\_\_

58

## 名前で検索して宛先を選ぶ

アドレス帳に登録した名称で宛先を探すことができます。

- 1 原稿をセットする(→P.18)
- 2 ファクスモードに切り替え(→P.15)、[(□□□]を押す
- 3 [◀]/[▶]で検索範囲を選択する アドレス帳(全て) ・全て ☆ ぁ か ↓ △ Canon-1 123XXXXXX △ ABC 456XXXXXXX ○ X Company 789XXXXXX 詳細/編集 新規登録
- 4 [▲]/[▼]で宛先を選択し、[OK]を押す
- 5 必要に応じて原稿の読み込み設定をする(→P.54、P.55)
- 6 [|①|](白黒)を押してファクスを送信する

### リダイヤルを使う

過去に指定した宛先を3件までさかのぼって指定できます。そのときに使った濃度などの ファクス設定も同時に指定されるため、送信操作を簡単に行うことができます。

- 1 原稿をセットする(→P.18)
- 2 ファクスモードに切り替える(→P.15)
- 3 [▲]/[▼]で<設定の履歴>を選択し、[OK]を押す
- 4 [▲]/[▼]で宛先を選択し、[OK]を押す

設定の	履歴	
<b>=</b>	123XXXXXXX	
= =	456XXXXXXX	

- 5 [①](白黒)を押してファクスを送信する
  - <履歴からの再送信を制限>が<ON>に設定されていると、この機能を使うことはできません。
  - 手動送信時に指定した宛先は記憶されませんので、履歴には残りません。
  - 本製品の電源を入れなおした場合、または<新規宛先の制限>を<ON>に 設定している場合は、過去に指定した宛先とファクス設定が消去されるため、この機能を使うことはできません。



### 複数の相手先にファクスを送信する(同報送信)



複数の宛先に同じ原稿を一度に送信できます。

- 1 原稿をセットする(→P.18)
- 2 ファクスモードに切り替える(→P.15)

#### 3 宛先を指定する

- アドレス帳またはテンキーを使って宛先を指定します。
- テンキーで番号を入力する場合は、入力後に<確定>を押します。2件目以降の宛 先もテンキー入力する場合は、[▲]/[▼]で<次の宛先指定(新規)>を選択してか ら入力します。
- LDAPサーバーから宛先を指定することもできます。詳しい内容は、電子マニュア ルを参照してください。
- 4 手順3を繰り返し、すべての宛先を入力する
  - <次の宛先指定(新規)>は10件まで入力できます。
  - 登録した番号のリストを確認したり、リストから削除するには、[▲]/[▼]で<**宛 先確認/編集**>を選択し、[OK]を押します。
- 5 必要に応じて原稿の読み込み設定をする(→P.54、P.55)
- 6 [|①|](白黒)を押してファクスを送信する

#### 海外にファクスを送る(ポーズの挿入)

海外へファクスを送信する場合は、通信距離が長くて相手にうまくつながらないことがあ ります。このようなときは、通信中に待ち時間を入れるポーズを番号の間に挿入します。

- 1 原稿をセットする(→P.18)
- 2 ファクスモードに切り替える(→P.15)
- 3 テンキーで国際アクセス番号を入力する
  - 国際アクセス番号については、ご契約の電話会社にお問い合わせください。
- *4* [▲]/[▼]で<ポーズ>を選択し、[OK]を押す
  - ポーズを意味するが表示されます。
  - ポーズ1つにつき2秒間のポーズ時間が設定されます。ポーズ時間を変更するには、 「ポーズ時間セット」(→P.69)を参照してください。
  - ポーズを連続して入れる場合は、もう一度[**OK**]を押してください。
- 5 テンキーで国番号、エリア番号、ファクス番号を順に入力する
- 6 [▲]/[▼]で<ポーズ>を選択し、[OK]を押す
  - •ファクス番号のあとに入る末尾のポーズは、10秒間固定です。
- 7 <確定>を押す
- 8 必要に応じて原稿の読み込み設定をする(→P.54、P.55)
- 9 [|①|](白黒)を押してファクスを送信する



# 電話をかけてからファクスを送信する

次のような場合は、手動で送信してください。

- 原稿を送信する前に相手と話したい場合
- 相手先のファクス機が自動受信できない場合



この機能を使うには、本製品に外付け電話機をつなげる必要があります。つ ながっていない環境では、他の電話機を使って通話し、ファクス受信状態へ の切り替えを依頼します。

- 1 原稿をセットする(→P.18)
  - 両面原稿の読み込みはできません。
  - 原稿台ガラスにセットした場合は1ページしか送信できません。
- 2 ファクスモードに切り替える(→P.15)
- 3 受話器を取る
  - 「プー」という音が聞こえます。
- 4 相手のファクス番号を入力する
- 5 相手が電話に出たら、ファクス受信の準備を依頼する
- 6 「ピー」という音が聞こえたら、[ ①](白黒)を押し、受話器を置く

# ファクスを受信する(受信モード)

 $(\rightarrow P.111)$ 

ファクスの受信には、本製品が自動で応対するものやお客様が手動で応対するものなど、いくつかの方法があります。用途 に合わせてファクスの受信方法を選択してください。



●接続する電話機の種類によっては、発信や着信が正常にできないことがあります。

- ●ファクス機能付きの外付け電話機を接続する場合は、外付け電話機のファクス自動受信を無効にしてください。
- ●受信モードが<自動受信>または<FAX/TEL切替>の場合は、着信があったときに外付け電話機を鳴らすかどうかを設定できます。ま た、鳴らす回数も設定できます。
  - [ (余)] ⇒ <ファクス設定> ⇒ <受信機能設定> ⇒ <着信呼出>で設定します。

# ファクス専用で使用する(自動受信モード)

受信モードを<**自動受信**>に設定して使用してください。



- 1 ファクスモードに切り替える(→P.15)
- 2 [▲]/[▼]で<受信モード>を選択し、[OK]を押す

3 [▲]/[▼]で<自動受信>を選択し、[OK]を押す

受信モード	
自動受信	
FAX/TEL切替	
手動受信	
留守TEL接続	

#### ファクスまたは電話の受信時

ファクスの場合は自動的に原稿を受信します。電話の場合は、相手にはファクス信号音が 聞こえます。

### ファクス/電話兼用で使用する(FAX/TEL切替モード)

受信モードを<FAX/TEL切替>に設定して使用してください。

- 1 ファクスモードに切り替える(→P.15)
- 2 [▲]/[▼]で<受信モード>を選択し、[OK]を押す
- 3 [▲]/[▼]で<FAX/TEL切替>を選択し、[OK]を押す

受信モード	
自動受信	
FAX/TEL切替	
手動受信	
留守TEL接続	

4 必要に応じて詳細設定をする

<呼出開始時間>	着信してから着信音を鳴らす前に、本製品がファクスかどうか を検出する時間を設定する(5秒~30秒)
<呼出時間>	着信音を鳴らす時間を設定する(15秒~300秒)
<音声応答>	応答メッセージを流すかどうかを設定する <ul> <li><off>:相手方には応答メッセージを流さない</off></li> <li><on>:相手方に応答メッセージを流す</on></li> </ul>
<呼出後の動作>	呼び出し中に受話器を取らなかったときの動作を設定する <ul> <li>&lt;終了&gt;:通信を切断する</li> <li>&lt;受信&gt;:ファクスを受信する</li> </ul>

5 設定が終わったら<確定>を押す





#### ファクスまたは電話の受信時

着信音が2回鳴ったあと、ファクスか電話かを自動判定します。ファクスの場合には自動的 にファクスを受信します。電話の場合には着信音が一定時間鳴り続けるので、つながって いる外付け電話機の受話器を取って通話してください。<**音声応答**>を<**ON**>に設定した 場合、応答メッセージを相手方に流します。



着信音の回数を変更できます。 [ <br/>
④] ⇒<ファクス設定>⇒<受信機能設定>⇒<着信呼出>⇒<ON> ⇒</br>

呼び出し回数を変更する ⇒ <確定> ⇒ [ <br/>
④]

### 留守番電話機をつなげて使用する(留守TEL接続モード)

-----

受信モードを<留守TEL接続>に設定して使用してください。

- 1 ファクスモードに切り替える(→P.15)
- 2 [▲]/[▼]で<受信モード>を選択し、[OK]を押す
- 3 [▲]/[▼]で<留守TEL接続>を選択し、[OK]を押す

受信モード	
自動受信	
FAX/TEL切替	
手動受信	
留守TEL接続	

#### ファクスまたは電話の受信時

つながった留守番電話機で受信したあと、相手がファクスの場合は、自動的にファクスを 受信します。相手が電話の場合は、留守番電話機が留守番応答メッセージを流し、相手方 の伝言を録音します。



あらかじめ、留守番電話機で自動応答するまでの着信音の回数 (1~2回を推 奨)をセットし、留守番応答メッセージも録音しておいてください。

# おもに電話を使用する(手動受信モード)

受信モードを<手動受信>に設定して使用してください。

- 1 ファクスモードに切り替える(→P.15)
- 2 [▲]/[▼]で<受信モード>を選択し、[OK]を押す

3 [▲]/[▼]で<手動受信>を選択し、[OK]を押す

受信モード	
自動受信	
FAX/TEL切替	
手動受信	
留守TEL接続	

#### ファクスまたは電話の受信時

着信音が鳴り続けるので、つながっている外付け電話機の受話器を取って通話してください。相手がファクスだと「ピー」という音が聞こえます。以下の「手動でファクスを受信する」を参照してください。

#### 手動でファクスを受信する

次の手順にしたがって、手動でファクスを受信してください。

- 1 呼び出し音が鳴ったら、受話器を取る
- 2「ピー」という音を確認したら、アクスを押して<受信スタート>を選択し、[OK] を押す
  - •「ピー」という音が聞こえない場合は、通話します。
- 3 受話器を置く



- 受話器を取って相手がファクスだったときは、電話機から所定のID番号 (工場出荷時の設定:25)を指定するとそのままファクスを受信できます。 わざわざ本製品のそばまで行って受信操作をする必要がありません。
- リモート受信IDは変更できます。
   [(④)] ⇒ <ファクス設定> ⇒ <受信機能設定> ⇒ <リモート受信> ⇒
- <ON> → リモート受信IDを変更する → <確定> → [ (※) ]

# メモリーを活用してファクスを受信する



ファクスをすぐに印刷しないでメモリーに保存しておくと、受信したファクスの相手を確認してからファクス文章を出力したり、別の宛先に転送したりできます。

#### メモリー受信に設定する

- 1 [余]を押す
- 2 [▲]/[▼]で<システム管理設定>を選択し、[OK]を押す
- 3 [▲]/[▼]で<通信管理設定>を選択し、[OK]を押す
- 4 [▲]/[▼]で<メモリー受信設定>を選択し、[OK]を押す
- 5 [▲]/[▼]で<ON>を選択し、[OK]を押す
- 6 必要に応じて詳細設定をする

<メモリー受信設定 暗証番号>	メモリー受信設定が他人から変更されないようにしたいと きに、7桁の暗証番号を設定する	
	暗証番号には「0」~「9」の数字が使用できます。ただし、「0」だけの数字を暗証番号として登録することはできません。	
	メモリー受信状態でファクスを受信したら、自動的に受信 結果レポートを印刷するように設定する • <b><off></off></b> :受信結果レポートを印刷しない • <b><on></on></b> :受信結果レポートを印刷する	
<レポートプリント>	↓ポートを印刷するには、 <b>く受信結果レポー</b> ト>も <b><on< b="">&gt;にする必要があります。[□] (レポート)→ <b>&lt;仕様設定</b>&gt; → <b>&lt;受信結果レ</b> ポート&gt; ※ デフォルト値は<b><off< b="">&gt;です。</off<></b></on<></b>	
<メモリー受信時刻 設定>	特定の時間帯だけメモリー受信するように設定する。開始 時刻になると、メモリー受信状態に切り替わる。終了時刻 になると、メモリーに受信したファクスが自動的に印刷さ れ、メモリー受信状態が解除される	

- 7 設定が終わったら<確定>を押す
- 8 [④]を押して設定を終了する

# メモリーの内容を確認/削除/転送する

メモリーに受信したファクスの相手を確認し、印刷する必要がないファクス文書は削除したり、別の宛先に転送したりできます。

- 1 [()](状況確認)を押す
- 2 [▲]/[▼]で<受信ジョブ>を選択し、[OK]を押す
- *3* [▲]/[▼]で<ジョブ状況>を選択し、[OK]を押す
- 4 [▲]/[▼]で確認したいファクスのジョブを選択し、[OK]を押す
  - ・削除するときは、<**削除**>を押したあと、[▲]/[▼]で<はい>を選択し、[OK]を 押してください。
  - 転送するときは、<**転送**>を押したあと、アドレス帳から転送先を選択し、[**OK**]を 押してください。

詳細情報	
受付番号: 5002	
状況: プリント得	<b>持機中</b>
受付時刻: 08/01 10:45AM	
部門ID: -	
相手先: 567XXXXXXX	
削除	転送

5 [(\_\_\_\_] (状況確認)を押して終了する

#### メモリーの内容をプリントする

<OFF>に切り替えると、メモリーに保存されているファクス文書がすべて印刷されます。



本製品では、特定のファクス文書を選んで印刷する機能がないため、不要な ファクス文書は先に削除しておいてください。

- 1 [( 🛞 )]を押す
- 2 [▲]/[▼]で<システム管理設定>を選択し、[OK]を押す
- 3 [▲]/[▼]で<通信管理設定>を選択し、[OK]を押す
- *4* [▲]/[▼]で<メモリー受信設定>を選択し、[OK]を押す
- 5 [▲]/[▼]で<OFF>を選択し、[OK]を押す
   ・メモリーに保存されているファクス文書が印刷されます。
- 6 [())]を押して終了する





- *4* [▲]/[▼]で設定項目を選択し、[OK]を押す
  - •「ファクスの送信設定の項目」(→P.69)の説明を参照してください。

基本設定	送信機能設定
ユーザー電話番号の登録	デフォルト設定の変更
回線種類の選択	ユーザー略称の登録(ファクス)
オフフックアラーム	ECN送信
	ポーズ時間セット
	自動リダイヤル
	発信元記録

- 5 設定値を選択し、<確定>または[OK]を押す
- 6 [(↔)]を押して設定を終了する

#### ファクスの送信設定の項目

設定項目	設定値 太字:工場出荷時の設定	項目の説明と設定の用途
<ユーザー電話番号の登録>		本製品のファクス番号を登録します。 登録した番号は、発信元記録として相手先の記録紙に印刷さ れます。
<回線種類の選択>	<b>自動</b> 手動 - ダイヤル20 PPS、ダイヤル10 PPS、 <b>プッシュ</b>	ファクスの送信ができない場合は、回線の種類を手動で変更 します。 電話回線の種類がわからないときは、ご利用の 電話会社にお問い合わせください。
<オフフックアラーム>	<b>OFF</b> ON - オフフックアラーム音量: <b>1</b> ~3	ファクス通信終了時に外付け電話機の受話器が外れていると き、警告音を鳴らすかどうかを設定します。また、警告音の 音量も設定できます。
<デフォルト設定の変更>		よく使う設定値をデフォルト値として設定できます。
<ユーザー略称の登録(ファ クス)>		ユーザー名称(会社や個人名など)を登録します。 登録した名称は、発信元記録として相手先の記録紙に印刷さ れます。
<ecm 送信=""></ecm>	OFF ON	ECM (エラー訂正モード) とは、ファクス通信中のエラーを自 動的に検知し修正する機能です。ECM 機能を使うと、電話回 線の状態が悪い場合でも送信エラーを軽減できます。
<ポーズ時間セット>	1~ <b>2</b> ~15(秒)	相手先ファクス番号に入れるポーズの長さを設定します。
<自動リダイヤル>	OFF ON - リダイヤル回数: 1~2~15(回) - リダイヤル間隔: 2~99(分) - 送信エラー時リダイヤル: OFF, <b>ON</b>	自動リダイヤルは、ファクス送信時に相手先が話し中などで 送信できない場合や送信エラーが発生したときに、自動的に リダイヤルしてファクスを再送信する機能です。 リダイヤルする回数や間隔などを設定できます。
<発信元記録>	つけない <b>つける</b> - 印字位置:画像の内側、 <b>画像の外側</b> - 電話番号マーク: <b>FAX、</b> TEL	相手先のファクス文書に発信元記録をつけるかどうかを設定 します。発信元記録は送信文書の上部に印刷されます。こち らのファクス番号や名前などが印刷されるので、相手先で誰 から送信されてきた文書かを確認できます。 ファクス番号 電話番号マーク 送信日時 A-ザー略称 C-ジ数 (2001/0001
<送信前のダイヤルトーン 確認>	OFF ON	ファクスを送信するときに、発信音を確認してからダイヤル するかどうかを設定します。

## ファクス送信機能を制限する

- 1 [🛞]を押す
- 2 [▲]/[▼]で<システム管理設定>を選択し、[OK]を押す
- 3 [▲]/[▼]で<送信機能の制限>を選択し、[OK]を押す
- 4 [▲]/[▼]で設定項目を選択し、[OK]を押す

•「ファクスの送信機能制限の項目」の説明を参照してください。

送信機能の制限 アドレス帳の暗証番号 新規宛先の制限 ファクスドライバーからの送信 履歴からの再送信を制限 ファクス番号入力時の確認入力 短縮ダイヤル送信の確認

- 5 設定値を選択し、<確定>または[OK]を押す
- 6 [③]を押して設定を終了する

#### ファクスの送信機能制限の項目

設定項目	設定値 太字:工場出荷時の設定	項目の説明と設定の用途
<アドレス帳の暗証番号>		アドレス帳に暗証番号を設定します。 暗証番号を設定すると、アドレス帳の宛先を登録/編集/削除 する際に設定した暗証番号を入力する必要があります。
<新規宛先の制限>	<b>OFF</b> ON	指定できる相手先を、アドレス帳に登録してある宛先、または LDAPサーバーで検索できる宛先に限定します。制限機能を < <b>ON</b> >に設定すると、以下の操作はできなくなります。 ・テンキーを使って宛先を指定する ・アドレス帳に新しい宛先を登録する ・アドレス帳に登録済みの宛先を変更する
<ファクスドライバーから の送信を許可>	OFF ON	ファクスドライバーを使ったコンピューターからのファクス送 信を許可するかどうかを設定します。
<履歴からの再送信を制限>	OFF ON	<設定の履歴>から宛先を選択して送信する機能を制限するか どうかを設定します。
<ファクス番号入力時の確 認入力>	OFF ON	ファクス送信の宛先指定時に、ファクス番号の再入力画面を表示させるかどうかを設定します。ファクス番号を2度入力する ことで、指定した宛先に誤りがないことを確認してから原稿を 送信することができます。
<短縮ダイヤル送信の確認>	OFF ON	短縮ダイヤルを使って宛先を指定する場合、確認画面を表示す るかどうかを設定します。
<同報送信の制限>	OFF 同報送信の確認 同報送信不可	複数の宛先にファクスを送信する場合の制限を設定します。 < <b>同報送信の確認</b> >を選択すると、送信するときに確認画面が 表示されます。< <b>同報送信不可</b> >を選択すると同報送信ができ ません。

# ファクス受信設定を変更する

- 1 [🛞]を押す
- 2 [▲]/[▼]で<ファクス設定>を選択し、[OK]を押す
- 3 [▲]/[▼]で<受信機能設定>または<受信プリント設定>を選択し、[OK]を押す
- 4 [▲]/[▼]で設定項目を選択し、[OK]を押す

•「ファクスの受信設定の項目」の説明を参照してください。

受信機能設定	受信プリント設定
ECN受信	受信情報記録
着信呼出	画像縮小
リモート受信	受信情報記録
自動受信切替	トナー少時の印字継続

- 5 設定値を選択し、<確定>または[OK]を押す
- 6 [ (𝔅)]を押して設定を終了する

#### ファクスの受信設定の項目

設定項目	設定値 太字:工場出荷時の設定	項目の説明と設定の用途
<ecm 受信=""></ecm>	OFF ON	ECM(エラー訂正モード)とは、ファクス通信中のエラーを自動 的に検知し修正する機能です。ECM機能を使うと、電話回線の 状態が悪い場合でも受信エラーを軽減できます。
<着信呼出>	OFF <b>ON</b> - 呼出回数: 1~ <b>2</b> ~99(回)	受信モードが<自動受信>または <fax tel切替="">に設定され ている場合、外付け電話機を鳴らすかどうかを設定します。ま た、呼び出し回数も設定できます。 設定した呼び出し回数分の着信音が鳴ったあとは、着信がファ クスのときは自動的に受信を開始します。電話のときは、&lt;受 信モード&gt;が<fax tel切替="">の場合のみ、再度外付け電話機 の着信音が鳴ります。</fax></fax>
<リモート受信>	OFF <b>ON</b> - リモート受信D: 00 ~ <b>25</b> ~99	外付け電話機を接続している場合は、電話機によるリモート受信をするかどうかを設定します。< <b>ON</b> >にした場合は、受話器を取ったときに「ピー」という音が聞こえたら、お使いの電話機のダイヤルでリモート受信IDを押します。また、リモート受信IDも設定できます。
<自動受信切替>	<b>OFF</b> ON - 呼出秒数: 1 ~ <b>15</b> ~99(秒)	手動受信モードで一定時間電話に出ないときに、自動的にファ クスを受信するかどうかを設定します。また、切り替える時間 の変更もできます。
<両面記録>*	OFF ON	受信文書を用紙の両面に印刷するかどうかを設定します。

\* MF8570Cdwのみ

設定項目	設定値 太字:工場出荷時の設定	項目の説明と設定の用途
<画像縮小>	OFF <b>ON</b> - 縮小率: <b>自動</b> 、97%、 95%、90%、75% - 縮小方向:縦横、 <b>縦のみ</b>	受信文書の画像を、セットしてある記録紙のサイズに合わせて 自動的に縮小したり、決められた倍率で縮小したりすることが できます。
<b>&lt;受信情報記録&gt;</b>	<b>つけない</b> つける	受信文書を印刷するとき、受付日、受付曜日、受付時刻、受付 番号、ページ番号を、原稿のいちばん下に印刷するかどうかを 設定できます。
<トナー少時の印字継続>	<b>しない</b> する	トナーカートリッジが残りわずかになった場合に、受信中の文 書の印刷を継続するかどうかを設定します。

### ファクスの通信管理設定を変更する

- 1 [③]を押す
- 2 [▲]/[▼]で<システム管理設定>を選択し、[OK]を押す
- 3 [▲]/[▼]で<通信管理設定>を選択し、[OK]を押す
- 4 [▲]/[▼]で設定項目を選択し、[OK]を押す
  - <ファクス設定>を選択した場合は、詳細項目を選択できます。
  - •「ファクスの通信管理設定の項目」(→P.73)の説明を参照してください。



- 5 設定値を選択し、<確定>または[OK]を押す
- 6 [③]を押して設定を終了する
### ファクスの通信管理設定の項目

設定項目	設定値 太字 : 工場出荷時の設定	項目の説明と設定の用途
<送信スタートスピード> <受信スタートスピード>	<b>33600 bps</b> 14400 bps 9600 bps 7200 bps 4800 bps 2400 bps	回線の状態が悪く、送信または受信が始まるまでに時間がかか るときは、送信または受信開始スピードを変更します。
<メモリー受信設定>	<b>OFF</b> ON - メモリー受信設定暗証番号:7 桁の番号 - レポートプリント:OFF、 <b>ON</b> - メモリー受信時刻設定: <b>指定</b> <b>しない</b> 、指定する	受信した文書は通常すぐに印刷されますが、印刷しないでいっ たんメモリーに保存しておくことができます。保存した文書は いつでも好きなときに印刷したり、不要な場合は消去したりし て、用紙を節約することができます。

# Memo

スキャン

よく使うスキャン機能を説明します。



スキャンの種類

さまざまなスキャン方法を用意しています。



# 操作パネルのキーを使ってスキャンする

操作パネルのキーを操作して、原稿を読み込むことができます。

- 1 本製品がコンピューターに接続されていることを確認する(かんたん設置ガ イドを参照)
- 2 原稿をセットする(→P.18)



- .3 スキャンモードに切り替える(→P.15)
- *4* [▲]/[▼]で<PC>を選択し、[OK]を押す

スキャンの種類を選択してく ださい。
PC
リモートスキャナー
USBメモリー
Eメール
Windows(SMB)

- 5 [▲]/[▼]で宛先を指定し、[OK]を押す
  - 読み込んだ原稿を保存するコンピューターを選びます。なお、本製品とUSB接続されているコンピューターだけでお使いの場合はこの画面は表示されません。

宛先を指定してください	
PC1	Ĵ
PC2	
РСЗ	

6 [▲]/[▼]でスキャンの種類を選択し、[OK]を押す

<カラースキャン>	<ul> <li>カラー、300 dpiの解像度で読み込んでPDFファイルに保存する</li> <li>PDF設定:サーチャブル/高圧縮</li> </ul>	
<白黒スキャン>	白黒、300 dpiの解像度で読み込んでTIFFファイルに保存する	
<カスタム1>	カラー、300 dpiの解像度で読み込んでJPEG/Exifファイルに保 存する	
<カスタム2>	<ul> <li>カラー、300 dpiの解像度で読み込んでPDFファイルに保存する</li> <li>PDF設定:サーチャブル/標準圧縮</li> </ul>	

7 [OK]を押す

フィーダーに原稿を セットした場合	原稿の読み込みを開始します。
原稿台ガラスに原稿	<ol> <li>1. 続けて原稿を読み込む場合は、[▲]/[▼]で&lt;次の原稿を</li></ol>
をセットした場合	読み込み>を選択し、[OK]を押します。 <li>2. &lt;保存して終了&gt;を押します。</li>

 読み込みが終了すると、コンピューターの画面にファイルが保存されたフォルダー が開きます。

						-	×
00-1.	マイ ピクチャ 🕨	2012-02-08		の検索			ρ
ファイル(F) 編集(E) 表	示(V) ツール(T)	へルプ(H)					
整理 ▼ ライブラリに追	如▼共有▼	スライド ショー	書き込む	*	11 10	•	0
☆ お気に入り ■ ダウンロード ■ デスクトップ ・ 雪 最近表示した場所	Scan1.PDF						
<ul> <li>⇒イブラリ</li> <li>ドキュメント</li> <li>ビクチャ</li> <li>ビデオ</li> <li>ミュージック</li> </ul>							
長 コンピューター							
1 個の項目							

- スキャンを中止するには
- 1 <中止>を押す
- 2 [▲]/[▼]で<はい>を選択し、[OK]を押す

### 読み込んだ画像の保存先

デフォルト状態では、読み込んだ日付のフォルダーが[ピクチャ]フォルダーに作成されます。 (Windows XPでは、[マイドキュメント]内の[マイピクチャ]フォルダーに作成されます。)

## ショートカットキーを使ってスキャンする

あらかじめショートカットキーに宛先やよく使う設定を登録しておくと、簡単にスキャン を行うことができます。

ショートカットキーの登録

- 1 [余]を押す
- 2 [▲]/[▼]で<スキャン設定>を選択し、[OK]を押す
- 3 [▲]/[▼]で<ショートカットキー設定>を選択し、[OK]を押す
- *4* [▲]/[▼]で<登録>を選択し、[OK]を押す
  - ショートカットキーに登録してある宛先を確認するには、<宛先確認>を選択して ください。
- 5 [▲]/[▼]で登録したいショートカットキー(<スキャン→PC1>または<ス キャン→PC2>)を選択し、[OK]を押す
- 6 [▲]/[▼]で接続方法を選択し、[OK]を押す
  <USB接続>を選んだ場合は、手順8へ進んでください。
- 7 [▲]/[▼]で宛先を選択し、[OK]を押す

<カラースキャン>	<ul> <li>カラー、300 dpiの解像度で読み込んでPDFファイルに保存する</li> <li>PDF設定:サーチャブル/高圧縮</li> </ul>
<白黒スキャン>	白黒、300 dpiの解像度で読み込んでTIFFファイルに保存する
<カスタム1>	カラー、300 dpiの解像度で読み込んでJPEG/Exifファイルに 保存する
<カスタム2>	<ul> <li>カラー、300 dpiの解像度で読み込んでPDFファイルに保存する</li> <li>PDF設定:サーチャブル/標準圧縮</li> </ul>

9 [() ]を押して設定を終了する



ショートカットキーを使って読み込む

- 1 本製品とコンピューターが接続されていることを確認する(かんたん設置ガ イドを参照する)
- 2 原稿をセットする(→P.18)
- 3 スキャンモードに切り替える(→P.15)
- *4* 選択したい宛先が登録されている[スキャントPC1]または[スキャントPC2]を押す

フィーダーに原稿を セットした場合	原稿の読み込みを開始します。
原稿台ガラスに原稿 をセットした場合	<ol> <li>1. 続けて原稿を読み込む場合は、[▲]/[▼]で&lt;次の原稿を 読み込み&gt;を選択し、[OK]を押します。</li> <li>2. &lt;保存して終了&gt;を押します。</li> </ol>

 読み込みが終了すると、コンピューターの画面にファイルが保存されたフォルダー が開きます。

### MF Toolbox を使ってスキャンする

操作パネルでく**リモートスキャナー**>に設定し、MF Toolboxを使ってさまざまなスキャン 設定を行うことができます。

- 本製品がコンピューターに接続されており、MF Toolboxがコンピューターに インストールされていることを確認する(かんたん設置ガイドを参照)
- 2 原稿をセットする(→P.18)
- 3 スキャンモードに切り替える(→P.15)
- *4* [▲]/[▼]で<リモートスキャナー>を選択し、[OK]を押す



5 コンピューターで[Canon MF Toolbox]アイコンをダブルクリックする



6 MF Toolboxが表示されたら、用途に応じたスキャンモードボタンをクリック する

[メール]	<ul> <li>メール添付用のスキャン設定が表示される</li> <li>読み込み後、電子メールアプリケーションの新しいメール に添付される</li> </ul>
[OCR]	<ul> <li>OCR(文字読み取り機能)用のスキャン設定が表示される</li> <li>読み込んだ原稿をOCRソフトウェアで開く</li> </ul>
[保存]	<ul> <li>・高品質な保存用のスキャン設定が表示される</li> <li>・読み込み後、デフォルトのフォルダーか指定したフォル ダーに自動的に保存される</li> </ul>
[PDF]	<ul> <li>複数ページの原稿を文字検索可能なPDFにするためのス キャン設定が表示される</li> <li>読み込み後、PDF形式で保存される</li> </ul>
[カラースキャン]	
[白黒スキャン]	<ul> <li>カスタム設定が表示される</li> </ul>
[カスタム1]	• 読み込み後、指定したフォルダーに保存される
[カスタム2]	

- 7 スキャン設定画面が表示されたら、必要に応じてスキャン設定を行う(→P.82)
- *8* [**スタート**]をクリックする
  - 読み込みが終了すると、コンピューターの画面にファイルが保存されたフォルダー が開きます。
  - 読み込んだ画像ファイルを表示するアプリケーションが指定されている場合、指定したアプリケーションで開きます。
- 9 読み込みが終了したら、[Imm]をクリックしてMF Toolboxを終了する

# MF Toolboxのスキャン設定画面を知る

ここでは、MF Toolboxで設定できる各項目について説明します。



- スキャン
- [OCR] ボタンで読み込む場合、この項目は利用でき ない ● 原稿の向きを設定する PDF [X] [PDF] スキャン画像を指定フォルダーに保存し、指定のアブ リケーションで聞きます。 Ũ ● 保存するPDF形式を選択する スキャンの設定 原稿の入力部(0): オートモード -PDF 1ページのPDFファイル 入力方法(U): 片面 (1ページ) を保存する 原稿サイズ(P): A4 -<<u>₽</u> 原稿向き設定(N)... 読み込んだすべての原 PDF スキャンモード(S): カラー 稿を、1つのPDFファイル 出力解像度(Q): (複数ページ) 300 dpi -で保存する ▼ 県文字を補正する(K) スキャナードライバーを表示する(Y) • 既存のPDFファイルの スキャン画像の保存 最後に追加して保存 File ファイル名(F): する PDF設定(G)... PDF ファイルの種類(T): PDF(複数ページ) • [元にするPDFファイ (ページ追加) C:¥Users¥ ¥Pictures¥ 参照(B)... ファイルの保存先(1): **ル**]の[参照]をクリッ ☑ 今日の日付のフォルダーに保存する(W) クして追加するPDF PDF アブリケーションの設定 設定の解除(D) ファイルを選択する 保存のみ 設定(E)... スキャン画像を確認する(H) **አ**ջ-Ի 
   初期設定に戻す(R)
   適用(A)
   キャンセル
   テキスト検索可能PDFの作成やPDFの圧 縮タイプを設定する • ファイル形式としてPDFを選択した場合 のみ設定可能 • 読み込んだ画像を表示するアプリケーションを設定する • [設定]をクリックしてアプリケーションを選択するか、ア プリケーションアイコンをドラッグアンドドロップする
  - アプリケーションを使用せずにファイルを保存するとき
     は、[設定の解除]をクリックする

スキャナードライバーでスキャン設定をしたいとき

 チェックマークを付けて[スタート]をクリックする とスキャナードライバー画面が表示される

に選択する(→P.84)

PDF設定	×
	E成する( <u>S</u> ) 日本語 →
PDF圧縮タイプ( <u>P</u> ) </th <th></th>	
	OK(() (キャンセル())

# スキャナードライバーを使ってスキャンする

スキャナードライバー (ScanGear MF) を使用すると、さまざまな設定を行ったり、プレビュー機能で必要な部分のみをスキャンしたりできます。

- 本製品がコンピューターに接続されており、ScanGear MFがコンピューター にインストールされていることを確認する(かんたん設置ガイドを参照)
- ク 原稿をセットする(→P.18)
- · 3 スキャンモードに切り替える(→P.15)
- 4 [▲]/[▼]で<リモートスキャナー>を選択し、[OK]を押す
- 5 コンピューターで[Canon MF Toolbox]アイコンをダブルクリックする
- 6 MF Toolboxが表示されたら、用途に応じたスキャンモードボタンをクリック する
  - [OCR] モードを使用した場合、スキャナードライバーは使えません。
- 7 スキャン設定画面が表示されたら、[スキャナードライバーを表示する] に チェックマークを付け、[スタート]をクリックする



- 9 [スキャン]をクリックする
  - 読み込みが終了すると、コンピューターの画面にファイルが保存されたフォルダー が開きます。
  - 読み込んだファイルを表示するアプリケーションを指定している場合、指定したアプリケーションで開かれます。

1()読み込みが終わったら、[🛛 🔀 ]をクリックしてMF Toolboxを終了する

メンテナンスと管理

本製品のお手入れやトナーカートリッジの交換方法と、本製品の管理や機能活用に役立つレポート/リストの活用方法を説明します。

# 日常のお手入れ

本体外部と内部、原稿台ガラスやフィーダーと定着器は定期的に清掃してください。



本製品のお手入れをするときに、ティッシュペーパー、ペーパータオルなど は使わないでください。静電気発生の原因になることがあります。

### 本体のお手入れ



安全のため、お手入れの前には電源スイッチを切り、本製品につながってい るすべてのケーブルを抜いてください。清掃が終わったら本製品に水分が 残らないように十分に乾燥させてからケーブルをつなぎ、電源を入れてくだ さい。

- 1 電源スイッチを切ってから、すべてのケーブルを抜く
- 2 フィーダーまたは原稿台ガラスに原稿がセットされている場合は、原稿を取り除く
- 3 水または薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固く絞って、本体の表面を 拭く



- 4 本体外部が完全に乾燥するまでしばらく待つ
- 5 すべてのケーブルを元通りに接続してから、電源スイッチを入れる

### 原稿台ガラスのお手入れ

原稿にないしみや点などが読み込まれたら、原稿台ガラスを清掃してください。

- 1 電源スイッチを切ってから、すべてのケーブルを抜く
- 2 フィーダーまたは原稿台ガラスに原稿がセットされている場合は、原稿を取り除く
- 3 フィーダーを開ける

4 水を含ませて固く絞った布で拭いたあと、乾いた柔らかい布で拭く



- 5 水分が完全に乾くまで待つ
- 6 フィーダーを閉じる
- 7 すべてのケーブルを元通りに接続してから、電源スイッチを入れる

### フィーダーのお手入れ

印刷された用紙に汚れが付いていたら、フィーダーを清掃してください。

- 1 [())]を押す
- 2 [▲]/[▼]で<調整/メンテナンス>を選択し、[OK]を押す
- 3 [▲]/[▼]で<フィーダーのクリーニング>を選択し、[OK]を押す
- 4 レターサイズの普通紙をフィーダーにセットし、[OK]を押す
   ・ クリーニングが開始されます。(約1分)
- 5 クリーニングが終わったら[(<br/>
  ⑦)]を押して画面を閉じる

### 定着器のお手入れ

印刷した用紙に黒い線が付いたりトナーが付いたりしたときは、定着器のクリーニングを 行ってください。

- 1 [④]を押す
- 2 [▲]/[▼]で<調整/メンテナンス>を選択し、[OK]を押す
- .3 [▲]/[▼]で<定着器のクリーニング>を選択し、[OK]を押す
- 4 給紙カセットまたは手差し給紙口にA4サイズの普通紙をセットして、[OK]を 押す
  - クリーニングが開始されます。(約1分)
- 5 クリーニングが終わったら[( ⊗)]を押して画面を閉じる

### 転写ベルト(ITB)のお手入れ

印刷品質が低下したら、転写ベルトを清掃してください。

- 1 [(𝔅)]を押す
- 2 [▲]/[▼]で<調整/メンテナンス>を選択し、[OK]を押す
- 3 [▲]/[▼]で<ITBのクリーニング>を選択し、[OK]を押す

#### 4 [OK]を押す

- クリーニングが開始されます。(約1分)
- 5 クリーニングが終わったら[(⊗)]を押して画面を閉じる

### トナーカートリッジを確認/交換する

トナーカートリッジは消耗品です。寿命に近づくと、メッセージが表示されたり、印刷結 果に白いすじが入ったり、ムラが出たりします。トナーカートリッジの残量をチェックし て、必要に応じて交換してください。



11より。印刷りるように設定りることもできよりが、印刷ね未が蒸くなる場合があります。(\* 実際には、ブラック、イエロー、マゼンタ、シアンが表示されます。)[④] ● <ファクス設定> ● <受信プリント設定>
 ● <トナー少時の印字継続> ● <する>の手順で選択します。
 ● メッセージについて詳しくは「メッセージが表示されたら」(→P.107)または

電子マニュアルの「困ったときは」を参照してください。

### トナーの残量を確認する



- 1 [()](状況確認)を押す
- 2 [▲]/[▼]で<デバイス状況>を選択し、[OK]を押す
- *3* [▲]/[▼]で<トナー残量>を選択し、[OK]を押す

4 トナー残量を確認する

- トナー残量が3段階で表示されます。(<良好>、<少ない>、<残りわずか>)
- 5 [] (状況確認)を押して画面を閉じる

### トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジを交換する時期になったら、本製品をお買い求めの販売店、またはお 近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。

XŦ	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ			
Čŧ	MF8570Cdw / MF8530Cdn	Canon Cartridge 418 Black (キヤノントナーカートリッジ 4 1 8 ブラック) Canon Cartridge 418 Yellow (キヤノントナーカートリッジ 4 1 8 イエロー) Canon Cartridge 418 Magenta (キヤノントナーカートリッジ 4 1 8 マゼンタ) Canon Cartridge 418 Cyan (キヤノントナーカートリッジ 4 1 8 シアン)		
	MF8280Cw / MF8230Cn	Canon Cartridge 331 II Black $(+ \tau/ \vee + f - f - h - h = h = h = h = h = h$ Canon Cartridge 331 Yellow $(+ \tau/ \vee + f - f - h = h = h = h = h = h$ Canon Cartridge 331 Magenta $(+ \tau/ \vee + f - f - h = h = h = h = h$ Canon Cartridge 331 Cyan $(+ \tau/ \vee + f - f - h = h = h = h = h$ $(+ \tau/ \vee + f - f - h = h = h = h = h$ $(+ \tau/ \vee + f - f - h = h = h = h = h$ $(+ \tau/ \vee + f - f - h = h = h = h = h = h$ $(+ \tau/ \vee + f - f - h = h = h = h = h$ $(+ \tau/ \vee + f - f - h = h = h = h = h = h = h$ $(+ \tau/ \vee + f - h = h = h = h = h = h$ $(+ \tau/ \vee + f - h = h = h = h = h = h = h = h$ Canon Cartridge 331 Cyan $(+ \tau/ \vee + f - h = h = h = h = h = h = h = h$ Canon Cartridge 331 Cyan $(+ \tau/ \vee + f - h = h = h = h = h = h = h = h = h$		

1 前カバーを開け、カートリッジトレイを引き出して、トナーカートリッジを 取り出す 2 新しいトナーカートリッジを準備する • 保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本製品のメンテナンスなど、トナー カートリッジを取り外したときに必要になります。 5~6回振って内部のトナーを 均一にならす。ドラム保護力 バー(a)はまだ取り外さない でください。 正面図 トナーカートリッジを平らなとこ ろに置き、タブを折ってからゆっ くりと真っすぐに引いて、シーリ ングテープ(長さ50 cm)を完全に 引き抜く 2 シーリングテープを引き抜くときの注意事項 • 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っぱらないでください。シーリ ングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。  $O_{Q_1}$ 
*∩ ¬* Op. 上面図 • シーリングテープが途中で引っかかっても、最後まで完全に引き抜い てください。 • シーリングテープがトナーカートリッジ内に残っていると、印字不良 の原因になります。ファクスをご使用の場合は、受信データは一度印 刷すると消去されるため、再度印刷することができませんのでご注意 ください。 取り外したシーリングテープについて • 地域の条例にしたがって処分してください。 ドラム保護力バーを取り外す X

- 3 トナーカートリッジを取り付ける
  - トナーカートリッジと同じ色のラベル(a)が貼ってあるスロットに取り付けてください。



4 トナーカートリッジトレイを押し込み、前カバーを閉める

### 1 警告

#### 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じない

トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

#### トナーをこぼした場合の対処

トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。 掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除 機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可 能性があります。

# 1 注意

#### トナーが手や衣服についた場合の注意

直ちに冷水で洗い流してください。温水で洗うと、汚れがとれなくなることがあり ます。

#### トナーが飛び散らないように注意

シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりしないでください。ト ナーが目や口に入った場合は、直ちに冷水で洗い流し、医師と相談してください。



• 取り外したシーリングテープは、地域の条例に従って処分してください。

 トナーカートリッジの取り扱い方法についての詳しい内容は電子マニュ アルの「安全にお使いいただくために」⇒「消耗品について」を参照して ください。

# レポート/リストを使って管理する

ファクスの通信状態、アドレス帳の保存状態、各種の設定値を印刷し、本製品の設定状態 のチェックが行えます。

- 1 [\_\_](レポート)を押す
- 2 [▲]/[▼]で<リストプリント>を選択し、[OK]を押す
- 3 [▲]/[▼]で印刷するレポートやリストを選択し、[OK]を押す

<アドレス帳リスト>*	アドレス帳(短縮ダイヤル、ワンタッチ、グループ)に 保存した番号
<b>&lt;ユーザーデータリスト&gt;</b>	設定値の一覧や、本製品の情報
<通信管理レポート>*	ファクスやEメール通信の履歴

\* MF8570Cdw / MF8530Cdn / MF8280Cwのみ

#### 4 画面に表示された手順にしたがって、印刷する

### 5 []](レポート)を押して終了する

ファクスの送信時や受信時にエラーが発生すると、レポートにエラーコードが表示されます。レポートに表示されたエラーコードを確認して対処してください。(→P.108)

	*********	**********				
	*** 進信管*	型レボート ***				
	**********	***********				
開始時刻	相手先アドレス	番号	通信モート	枚姜	( 通	信結果
08/01 12:36 AM	199777777	5001	自動受信	ECM	1 OK	00'18
08/01 12:37 AM	456XXXXXXX	0001	送信	ECM	1 ок	00'1
08/01 12:37 AM	789XXXXXXX	0002	送信	ECM	1 ок	00'1
08/01 12:52 AM	キヤノン-1 john@example.com	0003	送信 E	メール	DNG	#752
08/01 12:57 AM	jane@example.com	0004	送信 E	メール	0 NG	#752
08/01 01:02 AM	キヤノン-1 john@example.com	0005	送信 E	メール	1 OK	

レポートとリストの詳しい内容は電子マニュアルの「メンテナンス」を参照してください。



#### 、 リモートUIを使って管理する

本製品がネットワークに接続されている場合、リモートUIを使ってコンピューターから本 製品の状態を確認したり、各種設定を行ったりすることができます。

- 1 本製品のネットワーク環境を設定する(かんたん設置ガイドを参照)
  - TCP/IPを使用できるように本製品を設定し、本製品とコンピューターをネットワークルーターやハブにつなげます。
- 2 Webブラウザーを起動し、アドレス入力欄に「http://<本製品のIPアドレス>/」 を入力して、キーボードの[ENTER]キーを押す 入力例: http://192.168.0.215/



3 リモートUIにログオンする

	*	
A http://192.168.0.215/	(1) 公 合 合 合 合 合 合 合 合 合 合 合 合 合 合 合 合 合 合	
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)		
Canon ログイン	alas / LECETION Sector /	
<ul> <li>● 管理者モード</li> <li>シスタム 管理部10:</li> <li>シスタム 管理部16:</li> <li>● 一型 2 - サプモード</li> <li>2 - サブー名:</li> </ul>	D9-(-2) Cognight CANONIDE: 2011 All Fights Rearring	
[管理者モード]	リモートUIのすべての操作と	と設定が可能です。
[一般ユーザーモード]	本製品の状態や設定の確認す。また、ユーザー名を入っ	、ジョブの閲覧などが可能 hすることで、ユーザー名が

- 4 該当の設定画面が表示されたら、必要に応じたメニューを選択する
  - 詳しい内容は電子マニュアルの「**リモートUIを使う**」を参照してください。

致するジョブの操作が可能になります。

# Memo

# 困ったときには

紙づまりが起きたときや、トラブルが解決しないときなどの対処方法について説 明します。



# 「原稿や用紙がつまったら

紙づまりが起きた場合、画面に**<用紙がつまりました**>と表示されます。<**次へ**>を押す と、紙づまりが起きた場所がわかるメッセージが表示されるので、以下の表で参照先を確 認し、つまった紙を取り除いてください。





#### MF8570Cdw / MF8530Cdn

メッセージ	参照先
<フィーダーの原稿を取り除きます>	フィーダーに原稿がつまった(→ P.97)
<前カバーを開けます。>	本体の前面に用紙がつまった(→ P.99)
<トレイの紙を取り除きます。>	手差し給紙口に用紙がつまった (MF8570Cdw / MF8530Cdn) (→ P.103)
<カセット1を引き抜きます。> <カセット2を引き抜きます。>	給紙力セットに用紙がつまった(→P.102)
<後ろカバーを開けます。>	本体の背面に用紙がつまった(→ P.100)

#### MF8280Cw / MF8230Cn

メッセージ	参照先
<フィーダーの原稿を取り除きます>	フィーダーに原稿がつまった(→P.98)
<操作パネル部を上げます。>	本体の前面と背面に用紙がつまった(→ P.101)
<カセットを引き抜きます。> ▶ <給紙 ロカバーを開けます。 >	手差し給紙口に用紙がつまった (MF8280Cw / MF8230Cn) (→ P.105)
<カセットを引き抜きます。> ▶ <紙づ まりを取り除きます。 >	給紙力セットに用紙がつまった(→P.102)

### ▲ 警告

つまった原稿や用紙を取り除くとき

原稿や用紙の端で手を切らないよう注意してください。

つまった用紙を取り除くときや、本体内部を点検するとき

ネックレス、ブレスレットなどの金属製品が本体内部の部品と接触しないようにし てください。やけどや感電の恐れがあります。

# 1 注意

#### 手や衣類にトナーが付着した場合

冷水で洗ってください。温水で洗うと、落ちなくなります。

つまった原稿や用紙を取り除くとき

紙づまり時には、画面に表示されているメッセージにしたがって、つまっている用 紙を機械内部に紙片が残らないように取り除いてください。また、表示以外の箇所 には無理に手を入れないでください。けがややけどの原因になることがあります。



#### 用紙が破れた場合

紙片が残らないように、すべて取り除いてください。

#### 紙づまりが繰り返し起こる場合

以下を確認してください。

- オレンジ色のテープや梱包材がすべて取り外されているかを確認してく ださい。
- 本製品に用紙をセットする前に、平らな場所で揃えてください。
- お使いの用紙が本製品に適しているか確認してください。(→ P.20)
- つまった用紙の切れ端が本体内部に残っていないか、確認してください。

フィーダーに原稿がつまった

#### (MF8570Cdw / MF8530Cdn)

原稿がフィーダーにセットされているときは、作業の前にまずそれを取り除いてください。

1 フィーダーカバーを開ける



2 レバーを動かしてロックを解除する



3 原稿をゆっくり引き抜く



4 緑色のつまみを持って、中カバーを開ける



5 原稿をゆっくり引き抜く



- 6 中カバーを閉める
- 7 レバーを元の位置に戻し、フィーダーカバーを閉める

### フィーダーに原稿がつまった

(MF8280Cw / MF8230Cn)

原稿がフィーダーにセットされているときは、作業の前にまずそれを取り除いてください。

1 フィーダーカバーを開ける



2 原稿をゆっくり引き抜く



3 フィーダーカバーを閉める



















# メッセージが表示されたら

メモリー、用紙、トナーに関するメッセージの一部を説明します。以下のXXXXには、実際には、ブラック、イエロー、マゼンタ、シアンが表示されます。

メモ

本書で説明していないメッセージは電子マニュアルの「困ったときは」を参照してください。

メッセージ	対処方法
<メモリーがいっぱいのため読み込み を中止します。プリントしますか?>	読み込まれたページまで印刷するか、印刷を中止するか選択してください。
<メモリーがいっぱいです。 <b>&gt;</b>	<ul> <li>・送信または印刷待ちの文書がある場合は、処理が終了するまでお待ちください。</li> <li>・メモリーに保存されている受信文書が残っている場合は、印刷または削除してください。</li> <li>・原稿を少量ずつ分けて送信するか、解像度を下げて送信してください。(→P.54)</li> <li>・スキャンをする場合は、ファイル形式を容量の小さいものに変更してください。</li> <li>・USBメモリーに原稿を書き込む場合は、USBメモリー内の不要なデータを削除して空き容量を確保するか、別のUSBメモリーを接続してください。</li> </ul>
<用紙なし>	<ul> <li>・用紙をセットしてください。(→P.20)</li> <li>・レポートやリスト、受信文書をプリントする場合は、プリントできる用紙をセットして用紙種類を設定してください。</li> </ul>
<用紙と設定サイズが不一致>	<ul> <li>セットされている用紙に合わせて&lt;用紙設定&gt;を変更してください。(→P.28)</li> <li>プリンタードライバーからプリントしているときは、コンピューター側で用紙の設定が正しいかどうかも確認してください。</li> </ul>
<xxxxのトナーカートリッジを準備 してください。&gt;</xxxxのトナーカートリッジを準備 	トナーカートリッジの交換時期が近づいていますので、交換用のトナーカート リッジを準備してください。(→P.89) ※ファクス受信中に表示された場合は、印刷されずにメモリーに保存されます。 ※レポートの自動出力を設定していても、印刷されません。 ※ < <b>受信プリント設定</b> >の<トナー少時の印字継続>を <on>に設定していて ると印刷は継続しますが、印字が薄くなったりかすれたりすることがあります。</on>
<トナーカートリッジ寿命XXXX>	新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします(→P.89)。印刷は継続 できますが、品質は保証できません。
<トナーカートリッジ部品寿命。ト ナーカートリッジの交換を推奨>	新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします(→P.89)。印刷は継続 できますが、品質は保証できません。

# エラーコードが表示されたら

エラーが発生した場合、操作パネルやレポートにエラーコードが表示されることがあります。表示された3桁のエラーコードの原因を確認し、処置方法にしたがって問題を解決します。



(XE)

本書で説明していないメッセージは電子マニュアルの「困ったときは」を参照してください。

エラーコード	原因	処置
#001	原稿がつまっている可能性がある。	つまっている原稿を取り除いてください。
#003	データ量が大きすぎるため、送信/受 信できなかった。	送信時 • 読み取り時の解像度を下げて送信してください。 受信時 • 読み取り時の解像度を下げるか、原稿を分割して送信するよ う、相手先に連絡してください。
#005	相手先が35秒以内に応答しなかった。	もう一度はじめからやりなおしてください。また、相手先にファ クス機を確認してもらうよう連絡してください。海外へ送信す る場合は、ファクス番号にポーズを入れてください。
#012	相手先の記録紙がなくなったため送 信できなかった。	相手先に用紙を補給してもらうよう連絡してください。
#018 #022	相手が通話中などで送信できなかった。	しばらく待ってからもう一度やりなおしてください。それでも 送信できない場合は、相手先のファクスの電源が入っているか どうか確認してもらってください。
	海外へファクス送信するときにポー ズを挿入しなかった。	国番号または宛先のファクス番号のあとにポーズを挿入し、も う一度ダイヤルしてください。
	コンピューターからのファクス送信 が制限されている。	制限を解除する必要があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。または電子マニュアルの「 <b>セキュリティー</b> 」を参照してください。
	指定した宛先がアドレス帳から削除 されたためファクスを転送できな かった	転送先をアドレス帳に登録しなおしてください。エラー終了した転送文書がメモリーに残っている場合は、再送信することができます。詳しくは、電子マニュアルの「 <b>基本操作</b> 」または「ファクスする」を参照してください。
#037	メモリーがいっぱいになっている。	メモリーに保存されているデータを印刷/送信/削除してくだ さい。
#099	実行中のジョブをユーザー操作で中 止した。	必要に応じてジョブをやりなおしてください。
#995	待機中の文書の送信を中止した。	必要に応じてジョブをやりなおしてください。
# プリント結果がよくないときには

印刷結果の改善のため、それぞれの症状に推奨された処置を行ってください。



下記に記載の方法で解決できない場合は、電子マニュアルの「困ったときは」をご覧ください。
 特殊モードPの設定に方法については、電子マニュアルの「設定メニューー覧」→「調整/メンテナンス設定」を参照してください。

症状	例	処置
用紙がカールする	ABC	<ul> <li>・使用可能な用紙かどうか確認してください。(→P.20)</li> <li>・未開封の新しい用紙に交換してください。</li> <li>・用紙が正しくセットされているか確認してください。(→P.20)</li> <li>・操作パネルで&lt;特殊モードP&gt;の設定を変更してください。</li> </ul>
用紙がしわになる	ABC	<ul> <li>使用可能な用紙かどうか確認してください。(→P.20)</li> <li>未開封の新しい用紙に交換してください。</li> <li>用紙が正しくセットされているか確認してください。(→P.20)</li> <li>本体内部の異物の有無を確認してください。</li> </ul>
すじ状の汚れが付く	ARC. AB	• 使用可能な用紙かどうか確認してください。(→P.20) • 未開封の新しい用紙に交換してください。
トナーが飛び散ったよう な汚れが付く	ARC.	<ul> <li>・使用可能な用紙かどうか確認してください。(→P.20)</li> <li>・未開封の新しい用紙に交換してください。</li> <li>・トナー残量を確認してください。(→P.89)</li> </ul>
用紙の後端やその後続紙 が汚れる	ABC	<ul> <li>・印刷する文書の周囲に余白を確保してください。([仕上げ]タブ→[処 理オプション]→[印字領域を広げて印刷]→[しない])</li> </ul>
ページの一部が印刷され ない	ABC ABC	<ul> <li>・印刷する文書の周囲に余白を確保してください。([仕上げ]タブ→[処 理オプション]→[印字領域を広げて印刷]→[しない])</li> </ul>

# 故障かな?と思ったら

次の手順にしたがって、問題が解決するかどうか確認してください。



707 ファクス受信時に着信音を鳴らさないようにできますか? LAFAX/TEL切替モードをお使いの場合のみ、ファクスの着信音を鳴らさないようにできます。 ファクスの着信音を鳴らさないようにするには、[(𝔅)] → <ファクス設定> → <受信機能設 **定**> → <**着信呼出**> → <**OFF**>を押します。







FAQ

#### ファクス機能付きの外付け電話機が本製品と接続されている場合に、外付け電話機ではな く本製品でファクスを受信したい。

A ファクス受信モードを<FAX/TEL切替>に設定して、外付け電話機のファクス機能を無効にしてください。
 本製品と外付け電話機のファクス機能がどちらも有効に設定されている場合、最初にファクス信号を認識した機器がファクスを受信します。常に本製品でファクスを受信したい場合は、外付け電話機のファクス機能を無効にしてください。
 詳細については、外付け電話機に付属の取扱説明書を参照してください。

困ったときには



他の人と本製品やドライバーを共有で使用している場合、スキャン機能を  $\mathbb{Q}$ 使用できますか?  ${}^{\mathsf{L}}A$ 他のコンピューターにインストールされているドライバーを共有している場合、スキャン機能 を使用することはできません。スキャン機能を使用するには、MFドライバーをお使いのコン ピューターにインストールしてください。 付属のUser Software CD-ROMか、キヤノンオフィシャルウェブサイト (http://canon.jp/)からド ライバーをダウンロードできます。 ドライバーインストールの詳細については、かんたん設置ガイドを参照してください。



- BMP JPEG/Exif
- TIFF PDF

PDF形式で保存する場合、単数ページや複数ページの原稿を1つのPDFファイルに作成したり、 既存のPDFファイルにページを追加したりできます。

♥ <i>Q</i> 読みi	<ul> <li>込んだ画像を保存するフォルダーは変更できますか?</li> <li>MF Toolboxを使用した場合、読み込んだ画像を保存するフォルダーを変更できます。</li> <li>変更するには、</li> <li>1. MF Toolbox画面から、[参照]をクリックします。</li> </ul>
LA	MF Toolboxを使用した場合、読み込んだ画像を保存するフォルダーを変更できます。 変更するには、 1. MF Toolbox画面から、[参照]をクリックします。
	変更するには、 1. MF Toolbox画面から、[ <b>参照</b> ]をクリックします。
	1. MF Toolbox画面から、[参照]をクリックします。
	かっなかり
	マキャンの設定 原稿の入力(5)(0): オートモード -
	入力方法(U):     月面       厚稿サイズ(P):     A4
	スキャシモード:         カラー           出力解像度(0):         300 doi
	図 風文字を擁正する(K) □ スキャナ・アライバーを表示する(V)
	ファイルの)¥存先の:
	アプリケーションの設定 アプリケーションの設定 アプリケーションのアイコンをここにドラッグ&ドロップしてください。 設定(E).
	スキャン画像の確認ととい情報の入力00       初期報知2012月す(R)       適用(A)       キャンセル
	2. 読み込んだ画像を保存するフォルダーを指定して、 [ <b>OK</b> ]をクリックします。
とく 後数の	り原稿を読み込んで、「つのPDFノアイルとして保存でさますか?
${}^{L}A$	MF Toolboxを使ってスキャンした場合、複数の原稿を1つのPDFファイルとして保存すること ができます。
	複数ページあろ度稿を 1つのPDEファイルに保存するには
	1. MF Toolbox画面から、[ファイルの種類]の[PDF(複数ページ)]を選択します。
	PDF
	PDFT スキショー酸を指定フォルダーに体育し、指定のアブリケーションで留きます。
	スキャンの設定           原板の入力部(の):           オートモード
	スキャンモード(S):     カラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	② 息文字を確正する(A) □ スキャナドライバーを表示する(Y)
	スキャン画像の保存           ファイル-&(F):           File           ファイルの種類(T):           PDF該定(G)
	マーイルペ(F):     File       マーイルの種類(T):     PDF就変(G)       アワイルの種類(T):     ●DF就数(G)       ジョ日の目付のフォルグーに保存する(M)     参照(G).
	スキャン画像の保存 ファイルぶ(F):     File       ファイルの種類(T):     PDF設置(0)       アワイルが目体式NU:     参照(6)       ジョの目れのフォルダーに保存する(W)     参照(6)       アウルケーションの設定     設定の新際(0)       (保存のみ     設定(F)
	スキャン画像の保存 ファイルペ(f):     File       ファイルの独称(T):     PDF設定(0).       アイルの独称(T):     PDF設定(0).       少今日の日付のフォルダーに保存する(M)     参照(6).       マウルウ・ションの設定     設定の解除(0).       保存のみ     設定(E).       スキャン画像変現起する(H)     法定(E).       フォーン画像変現起する(H)     法内(A) キャンセル

## 停電のときには

電力供給が止まっている間、本製品は使用できません。

#### 停電時のファクス機能について

- 原稿を送受信できません。
- 外付け電話機で電話をかけられないことがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。
- 外付け電話機で電話を受けられることがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。



#### 電源供給が止まったときのデータ保存

停電の発生や電源コードが誤って抜けるなどが原因で電 源供給が止まっても、メモリーに蓄積されていた送受信 データは保存されています。



#### 内蔵バッテリーの充電について

内蔵バッテリーを完全に充電するには電源を入れてから 約24時間かかります。

充電が不十分だとメモリー内にデータがきちんと保存されない場合があります。

## 安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、本書と電子マニュアルの「安全にお使いい ただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。 ここに書かれている警告や注意、重要事項は、お使いになる人や他の 人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお 守りください。

本書の記載にしたがわない使いかたをする、不適切な使いかたをする、弊 社以外の第三者または弊社指定以外の第三者によって修理/変更する、 などによって生じた障害の責任は負いかねますのでご了承ください。

#### 設置について



- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。これらが製品内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。
- アクセサリーなどの金属や液体が入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると火災や感電の原因になります。
   万一、内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買

カー、内部に入った場合は、電源フラクをコノセノトから抜き、お貝 い求めの販売店にご連絡ください。

 医療用機器の近くで使用しないでください。本機からの電波が影響を 及ぼし、誤動作による事故の原因になります。

# 1 注意

- 次のような場所には設置しないでください。けがや火災、感電の原因になります。
  - 不安定な場所
  - 振動のある場所雨や雪が降りかかるような場所
  - 通風口をふさぐおそれのある場所(壁の近く、ベット・ソファー・ 毛足の長いじゅうたんの上など)
  - 湿気やホコリの多い場所
  - 屋外や直射日光の当たる場所
  - 高温になる場所
  - 火気に近い場所
  - 風通しの悪い場所
- 使用中はオゾンなどが発生しますが、人体に影響ありません。ただし、長時間使用したり大量にプリントしたりする場合は、快適な作業環境を保つために換気してください。
- 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。
   火災や感電の原因になります。
- ハードディスクを搭載している製品は、高地(海抜3,000 m以上)で 使用すると、正常に動作できない場合があります。

#### 電源について

#### 1 警告

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因 になります。
- 電源コードを傷つける、加工する、引っぱる、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源コードに重いものをのせないでください。火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因に なります。
- タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。
   火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の 原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コンセントのアース線端子\*に、アース線を接続してください。 万一、漏電した場合は感電の恐れがあります。
  - \* アース線専用端子がない場合は、接地工事 (D種) が行われている アース線端子に接続します。



- 次の場所には絶対に接続しないでください。
  - 水道管・・・配管の一部がプラスティックの場合、アースの役目を 果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水 道管は除きます。
  - ガス管・・・ガス爆発や火災の原因になります。
  - 電話線のアースや避雷針・・・落雷のときに大きな電流が流れ、火 災や感電の原因になります。
- ・ 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
   ・火災、感電、故障の原因になります。

# 

- 表示以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因に なることがあります。
- 非常時にすぐ電源プラグが抜けるように、電源プラグの周囲に物を 置かないでください。

#### 取り扱いについて

## 1 警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・ 高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電源コード、ケーブル類、製品内部のギア、電気部品などに子供の 手が届かないよう注意してください。思わぬ事故の原因となり危険 です。
- 異音・異臭がする、発熱・発煙している、などの場合は、直ちに電 源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡くだ さい。そのまま使用すると火災や感電の原因になり、大変危険です。
- 製品の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。

## 1 注意

- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセン トから抜いてください。
- 開閉部を操作するとき手を挟まないようにしてください。けがの原 因になることがあります。
- 使用直後は、内部や排紙口が高温になります。また、連続印刷する と用紙が熱くなることがありますので取り扱いには注意してくだ さい。やけどの原因になることがあります。
- 排紙直後の用紙は、熱くなっている場合があります。特に連続プリントした場合は、用紙を取り除くときや、取り除いた用紙を揃えるときに注意してください。やけどの原因になることがあります。
- フィーダーと操作パネル部は、手を挟まないように静かに閉じてく ださい。けがの原因になることがあります。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナーユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配はまったくありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
  - 取扱説明書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
  - レーザースキャナーユニットのカバーに貼ってある注意ラベル をはがさないでください。



- 万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因 になることがあります。
- 取扱説明書で規定された、制御、調整および操作手順以外のご利用 は、危険な放射線の露出を引き起こす可能性があります。
- この製品はIEC60825-1:2007 においてクラス1 レーザー製品である ことを確認しています。

## 保守/点検について

# **企**警告

- 清掃のときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてく ださい。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまった ホコリや汚れを、乾いた布でふき取ってください。ホコリが湿気を 吸って電流が流れ、火災の原因になります。
- 清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アル コール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでくだ さい。これらが内部の電気部品などに付着すると火災や感電の原因 になります。
- 電源コードや電源プラグは定期的に点検し、発熱・錆び・曲がり・ 擦れ・亀裂がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用 し続けると、火災や感電の原因になります。

### 消耗品について

#### 1 警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。引火して、やけ どや火災の原因になります。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。 掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。 掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

## 1 注意

- トナーカートリッジなどの消耗品は、幼児の手が届かないところへ 保管してください。万一、トナーを飲んだ場合は、直ちに医師に相 談してください。
- トナーカートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って 目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合 は、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナーカートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり、皮 膚に付着しないよう注意してください。万一、皮膚に付着した場合 は、石鹸を使って洗い流してください。また、トナーを吸い込んだ 場合や、皮膚に刺激が残る場合は直ちに医師に相談してください。

#### その他

# <u>小</u>警告

 ・心臓ペースメーカーをご使用の方へ
 本機からは微弱な磁気を発生しています。万一、身体に異常を感じ
 たら本機からすぐに離れ、医師にご相談ください。

## 規制について

#### 本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制にしたがって、以下の() 内の名称で登録されている場合があります。 Satera MF8570Cdw (F164802) Satera MF8530Cdn (F164800) Satera MF8280Cw (F164702) Satera MF8230Cn (F164700)

#### 電波障害規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン 受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがありま す。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。 なお、通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

VCCI-B

#### 高調波の抑制について

本機器はJISC 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

#### 原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製したり、加工したりする と、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または 家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的と する場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する 場合には肖像権が問題となることがあります。

通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその 本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- ・紙幣、貨幣、銀行券(外国のものを含む)
- •国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- •株券、社債券
- •手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- ・その他の有価証券
- 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律に より罰せられます。

- ・公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書 や文書
- ・私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- ・役所または公務員の印影、署名または記号
- ・私人の印影または署名

[関係法律]

- •刑法
- •著作権法
- •通貨及証券模造取締法
- ・ 外国二於テ流通スル貨幣紙幣銀行券
- ・証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- •印紙犯罪処罰法
- •印紙等模造取締法

#### 免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。 キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特 定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、 明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を 負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、ま たは結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用に なったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を 負うものではありません。

# Memo

## Memo

# Memo



## 消耗品のご注文先

販売先

電話番号

担当部門

担 当 者

	サービス担当者 連絡先	
販 売 店		
電話番号		
担当部門		
 担 当 者		



キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

#### お客様相談センター ( 全 国 共 通 番 号 )

# 050-555-90024

 [受付時間] 〈平日〉9:00~20:00 〈土日祝祭日〉10:00~17:00 (1/1~3は休ませていただきます)
 ※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9627 をご利用ください。
 ※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
 ※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

#### 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6